

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における計画事業の取組み及び評価（概要）

【計画期間：平成27年度～29年度】

資料 2

第4章

1 地域包括ケアシステムの構築・強化

施策	第6期計画（平成27年度～29年度）の取組内容	平成28年度取組結果及び29年度取組状況	現段階における評価と今後の取組み
<p>(1) あんしんケアセンターの機能強化</p>	<p>○ 今後の高齢者人口の増加や分布に応じ、平成29年度に6センターを増設して、市内30センター体制とするとともに、基幹型機能を持つあんしんケアセンター設置の検討を行います。 また、新たな介護予防・日常生活支援総合事業に取り組むことや地域包括ケアシステムの充実を図ります。 ○ あんしんケアセンターの人員配置についてより適正化を図るため、計画的に職員を増員します。</p>	<p>あんしんケアセンターについては、平成28年度に公募による事業者選定及び受託法人へ設置準備に関する委託を行い、平成29年4月1日からあんしんケアセンター数を24か所から30か所（出張所2か所）に増設しました。 あんしんケアセンターの人員配置については、あんしんケアセンターの6か所増設に伴い平成29年度に包括三職種を137人に増員しました。 また、平成29年度に3区の保健福祉センターにあんしんケアセンターを支援する体制を整備しました。</p>	<p>計画どおり実施している。今後も、引き続き、高齢者人口に応じた包括三職種人数を配置し、きめ細かな対応をとれる体制を整えていく。</p>
<p>(2) 在宅医療・介護連携の推進</p>	<p>○ 訪問診療を行う医師の育成や「（仮称）市認定在宅介護対応薬局」の確保、市立病院による訪問診療医のバックアップ体制を構築するとともに、既に実施している訪問歯科診療事業の拡充も含め、市民が在宅で医療を受けるための基盤整備を行います。 また、各種研修や、在宅ケア資源データの共有に加え、市立病院をはじめとする市内病院の医療連携ネットワークの構築なども視野に入れ、医療・介護関係者の連携やスキルアップなどを図ります。 さらに、出前講座やシンポジウムの開催、各種媒体の活用により、これらの取組を市民へ周知することで、市民自ら在宅医療・介護について考えることができる機会を創出します。 ○ 家族介護者が特に困難を感じている介護技術（排泄介助、食事介助方法など）について、介護方法に関する相談を行う「家族介護者支援センター」を設置するとともに、訪問介護事業者などが要介護（要支援）者等宅を訪問し、介護技術の講習を行う「家族に対する介護技術養成事業（訪問レッスン）」を実施します。</p>	<p>地域の医療・介護資源・福祉資源の把握及び活用のため、平成28年度に『在宅医療・介護資源調査』を実施し、将来必要な資源量の推計を実施しました。平成29年度に得られた推計結果等を関係者間で共有するためのわかりやすい提示方法や共有範囲等について、関係職種と協議しながら検討します。 訪問診療を行う医師や医療職及び介護職を対象とした研修の実施については、平成28年度実績は計画を大幅に上回りました。 市民に対し、平成28年度は「終末期を含めたライフスタイルについて」講演会を開催し、平成29年度も引き続き開催します。 家族介護者支援については、電話相談、訪問レッスンを実施するとともに、研修会を6回開催し、介護者の負担軽減を図りました。</p>	<p>研修、講演会等については、計画通り実施している。 引き続き、在宅医療・介護連携基盤整備については、関係機関と体制づくりに努める。 家族介護者支援については、訪問レッスンの利用が伸び悩んでおり、効果的な周知方法を検討する。</p>
<p>(3) 認知症施策の推進</p>	<p>○ 認知症の進行に伴い生じてくる症状や医療・介護サービスなどの情報をまとめた「標準的な認知症ケアパス」を作成・配布します。また、「認知症サポーター養成講座」、「市政出前講座」の開催や子どもたちへの啓発活動を行う「認知症こども“力”（ちから）プロジェクト」を推進します。 ○ 認知症の人に対して初期の支援を集中的に行う「認知症初期集中支援チーム」の整備を進めます。 ○ MCI（軽度認知障害）の人は、65歳以上の約13%と見られていることから、早期発見・ケアに努めるとともに、必要な助言を行います。 ○ 認知症の人やその家族が安心して過ごせる居場所として「認知症カフェ」の整備を進めます。 ○ 認知症施策をさらに推進するため、有識者をはじめ、認知症コーディネーター、認知症地域支援推進員など、認知症に関する専門性を有するスタッフとともに必要な施策について、調査・研究します。</p>	<p>認知症の進行に伴い生じてくる症状や医療・介護サービスなどの情報をまとめた「標準的な認知症ケアパス」を平成27年度に作成し、平成28年度には利用者の声を反映した改定版の認知症ケアパスを作成。普及のため、年2回「認知症ケアパス講演会」を開催しました。 また、平成28年度は「認知症サポーター養成講座」を179回開催し、また「認知症こどもちからプロジェクト」として、中央区、花見川区、美浜区等の小中学校で「認知症サポーター養成講座」を実施し、認知症に関する知識の普及に努めました。 「認知症初期集中支援チーム」については、H29年1月より2チーム増設し、稲毛区・緑区でも活動を開始しました。 「認知症カフェ」の整備については、運営者や関心のある方対象に研修会を開催したり、平成27年度より引き続き設置や運営などの費用の一部補助を行い、平成28年度には認知症カフェの情報をホームページに掲載し、PRを行いました。</p>	<p>ほぼ計画通り実施している。 今後は若い世代や職域を対象に「認知症サポーター」の養成を実施するなど、引き続き認知症の知識の普及・啓発を実施し、認知症への理解の促進を図る。 かかりつけ医の認知症対応力向上研修について参加して頂ける医師の増加に向け、市医師会の協力の下、検討を行う。</p>
<p>(4) 生涯にわたる健康づくりの推進</p>	<p>○ 食生活、身体活動・運動など様々な分野において、市民の健康づくり活動を支援し、生活習慣の改善を図ります。また、市民自らが健康への関心を高め、主体的に健康づくりに取り組めるように、地域・職域関係者と地域の特性にあったネットワークづくりを推進します。 ○ 保健福祉センターを拠点とした健康教育や健康相談などの保健サービスの充実並びに食育や歯・口腔の健康づくりの推進及び運動習慣の普及・啓発を図ります。また、企業などと連携して就労世代に対する健康づくりを支援することで、生活習慣病の予防に努めるとともに、疾病の早期発見・早期治療のため、がん検診や歯周疾患検診などの受診率の向上や予防接種による疾病予防対策の充実を図ります。</p>	<p>食生活、身体活動・運動など様々な分野において、市民の健康づくり活動を支援し、生活習慣の改善を図るため、講演会や各種教室を開催し、啓発に努めました。 また、市民自らが健康への関心を高め、主体的に健康づくりに取り組めるように、地域が中心となって運動を継続する「ヘルスサポーター」養成を推進しております。</p>	<p>ヘルスサポーター（健康づくり支援者）は、各区において2回開催できている。今後、区保健福祉センターを会場とすることに限らず、自治会や公民館等、住民の身近な場所での開催を検討する必要がある。</p>

第4章

1 地域包括ケアシステムの構築・強化

	今後の取組	平成28年度取組結果及び29年度取組状況	現段階における評価と今後の取組み
<p>(5) 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進</p>	<p>○ 「セルフケアの促進」、「閉じこもりの防止」、「地域で活躍するリーダー的存在の養成」などの視点から、元気なうちから健康づくりに取り組むきっかけとなるような、一般介護予防事業を展開します。 ○ 住み慣れた地域でいつまでも元気にいきいきと暮らし続けることを目的に「セルフマネジメント」の手法をお知らせし、自ら積極的に取り組めるよう支援します。 ○ 毎日の生活に生かせる運動、口腔機能向上、栄養改善及び認知症予防などへの取組みを総合的に行う介護予防教室を開催し、セルフケアに取り組むきっかけを提供します。 ○ 介護予防教室に参加した後、地域のリーダーとしていきいきと活躍できるよう支援します。 ○ 高齢者の生活支援サービスを推進していくことを目的として、地域における生活支援サービスのコーディネート機能を担う「生活支援コーディネーター」を配置します。 ○ 介護保険以外の在宅サービスについても、民間の事業者だけではなく、多様な主体によるサービスの参入も視野に入れ、高齢者の在宅生活を支援します。 ○ 高齢者が特別養護老人ホームなどで行うボランティア活動に対して、ポイントを付与する介護支援ボランティア制度を継続し、高齢者のボランティア活動への参加を支援します。 ○ これまで、サービスの種類、内容、単価などについて全国一律で提供されてきた予防給付のうち、訪問介護と通所介護は、介護保険法の改正により、市町村が地域の実情に応じて、住民主体など多様な主体による柔軟な取組みにより行われるよう、見直しが図られ、平成29年4月までに新しい介護予防・日常生活支援総合事業に移行することとされています。本市では、平成28年度から、現行の訪問介護と通所介護に相当するサービスは維持しつつ、多様なサービスの担い手となる地域の人材の育成に取り組む生活支援コーディネーターを配置するとともに、リハビリテーション専門職を地域の活動の場へ派遣するなど総合事業として新しいサービスを段階的に開始し、平成29年度に全面的に移行します。</p>	<p>元気なうちから健康づくりに取り組むきっかけづくり、住み慣れた地域でいつまでも元気にいきいきと暮らし続けられるよう「セルフマネジメント」による介護予防への取組み支援の観点から、各種予防事業を実施しました。 また、地域の方々に対して介護予防の普及啓発ができる「シニアリーダー」を育成する講座を平成27年度から実施しており、平成29年度も引き続き講座開催し、講座修了者への地域活動支援をさらに拡大して実施していきます。 さらに、高齢者の生活支援サービスを推進するため、地域における生活支援サービスのコーディネーター機能を担う「生活支援コーディネーター」を平成27年10月に6区に配置し、介護保険以外の在宅サービスについても、多様な主体による提供ができるような基盤づくりを推進しています。 平成28年度には生活支援コーディネーターが地域の支えあい活動団体等の調査を行い、介護サービス情報公表システムで約600件の情報を開示した他、いきいき活動マップの原案作成を行った。平成29年度は生活支援サービスをまとめたガイドを発行します。</p>	<p>相談、教室関係事業は、ほぼ計画通りに実施した事業がほとんどであったが、見守りや生活支援活動への支援については、目標に大きく届かなかった。今後、支え合い体制づくりの促進と連携した、取組を検討する必要がある。 また、閉じこもりなどの何らかの支援を要する人の把握を目的とした事業について、目標を大きく下回ったため対応策の検討が必要である。</p>
<p>(6) 高齢者の住まいの安定的な確保</p>	<p>○ 身体機能の低下した高齢者が、地域で安心して生活が送れるよう、段差解消、転倒防止（手すり設置）などのバリアフリー構造による住宅の確保及び住宅改修を支援します。 ○ 高齢者にふさわしいハードと安心できる見守りサービスを提供する「サービス付き高齢者向け住宅」の供給を促進します。</p>	<p>高齢化率の増加に伴って、身体能力の低下した高齢者が地域で安心して生活が送れるよう、バリアフリー構造による住宅の確保及び住宅改修の支援を引き続き実施します。 また、「サービス付き高齢者向け住宅」の供給推進については、適切な管理運営が行われるよう、立ち入り検査や定期報告を実施します。 平成29年4月1日から住宅関連情報提供コーナーを「すまいのコンシェルジュ」にリニューアルし、引き続き住宅のバリアフリー化の促進などの啓発を行います。</p>	<p>おおむね計画通りに実施した。引き続き、今後増加する高齢者の住まいの確保に努める。</p>
<p>(7) 支え合いの体制づくりの促進</p>	<p>○ 高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けることができるよう、「支え合いのまち千葉 推進計画（第3期千葉市地域福祉計画）」に基づき、地域、千葉市社会福祉協議会及び市が連携・協働して、地域で支え合う仕組みづくりを推進します。 ○ 民生委員や地域住民などが支え合う、高齢者の見守りネットワークづくりを支援します。 また、地域支え合い体制づくり事業により地域に整備された支え合いの体制を、引き続き支援します。 ○ 三世代同居等支援事業について、「データでみる千葉市の魅力PRチラシ」に掲載するなど、積極的にアピールします。</p>	<p>「支え合いのまち千葉推進計画（第3期千葉市地域福祉計画）」に基づき、地域、社会福祉協議会、市が、連携して、地域で支え合う仕組みづくりにおいて、平成27年度から千葉市社会福祉協議会に対して補助している「高齢者生活支援サービス基盤づくり事業」の実施など、地域包括ケアシステムにおける高齢者支援の観点から住民主体の取組みを支援しています。</p>	<p>おおむね計画通りに実施した。引き続き、今後増加する高齢者への見守りや生活支援など、地域で支える体制づくりに努める。</p>
<p>(8) 安全・安心なまちづくりの推進</p>	<p>○ 災害時における要支援者の支援については、それぞれの要支援者の状況に応じた的確な支援が重要であり、防災関係部局や地域の自治会組織、自主防災組織、民生委員などと連携し、安否確認や避難支援の仕組みづくりを推進します。 ○ 高齢者の消費者被害を防止するため、関係機関及び団体が密接に連携するとともに、悪質商法の手口や対処方法などの啓発に努めます。 ○ 高齢者が安心して外出し、積極的に社会に関われるよう、都市施設、公園、公共交通機関などのバリアフリー化を推進するとともに、多様な移動手段の確保と充実に努めます。</p>	<p>近年多発している自然災害時において高齢者は災害弱者となるため、防災関係部局や地域の自治会組織、民生委員などと連携し、「避難行動要支援者」の情報共有、支援体制の強化を推進します。 また、高齢者の消費者被害を防止について、関係機関と協力して取り組みます。</p>	<p>おおむね計画通りに実施した。家具転倒防止対策の利用者の助成件数が、伸び悩んでいるため、。H28年度に町内自治会回覧を行ったところ、一定の効果があつたと思われる。</p>

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における計画事業の取組み及び評価（概要）

【計画期間：平成27年度～29年度】

資料 2

2 生きがいくくりと社会参加の促進

	今後の取組	平成28年度取組結果及び29年度取組状況	現段階における評価と今後の取組み
(1) 社会参加活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者が積極的に社会参加し、生きがいを持って生活できるよう、活動拠点の実施内容の充実や活動組織の支援を進めるとともに、多様な学習ニーズに対応した学習機会の拡充やボランティア活動を支援します。 ○ 高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元気にいきいきと暮らせるよう、これまで高齢者が培ってきた知識・経験・技術やライフスタイルなどにあわせて、学習、スポーツ、レクリエーション、ボランティア活動などを行うことができる場の確保や機会の創出、情報提供に努めます。 ○ 仲間づくりや社会参加を促進するため、老人クラブなどの地域の高齢者の自主的な活動へ支援を行います。 	<p>高齢者が積極的に社会参加し、生きがいを持って生活できるよう、多様な学習ニーズに対応した学習機会やボランティア活動の支援などの取組みを推進します。</p>	<p>ほぼ計画通りに実施した。引き続き、高齢者が積極的に社会参加し、生きがいを持って生活できるよう、多様な学習ニーズに対応した学習機会やボランティア活動の支援に取り組む。</p>
(2) 高齢者の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会参加を促進するため、シルバー人材センターによる高齢者の就労支援の充実を図ります。また、ワンコインサービスにより買い物支援など暮らしのお手伝いを行うなど、地域貢献活動に積極的に取り組めます。 	<p>引き続き、就業機会の拡大、会員の資質の向上を図りつつ、シルバー人材センターの充実を図ってまいります。</p>	<p>おおむね計画通りに実施した。高齢者の増加に合わせ、引き続き会員登録者数の増加に取り組む。</p>

3 尊厳ある暮らしの支援

	今後の取組	平成28年度取組結果及び29年度取組状況	現段階における評価と今後の取組み
(1) 高齢者虐待への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者虐待について、市民の知識や理解を深めるため、高齢者虐待防止パンフレットを作成・配布するとともに、町内自治会で回覧するなど啓発・広報活動を行います。 ○ 高齢者を虐待から守る活動や、虐待の早期発見・早期対応、再発防止に努めます。 ○ 養介護施設従事者等（施設職員や介護職員）に対しては、その資質の向上を図るため、新任職員や指導的立場にある職員など目的に合わせた研修を実施するほか、施設などに対しては、身体拘束の排除とともに、虐待防止に関する指導・監督を強化します。 ○ 高齢者虐待に関する知識や理解の普及・啓発を引き続き行っていくとともに、地域の関係機関との連携を一層強化するため、高齢者虐待防止連絡会などを引き続き開催します。 ○ 保健福祉センターとあんしんケアセンターなどの関係機関との連携強化や職員の対応力の向上を図るため、個別ケース会議や事例検討会を中心とした研修会を引き続き開催し、関係者間で対応方針や方向性を共有し、一体となって支援に努めます。 ○ 高齢者虐待の発生時には、必要に応じて警察などと連携し対応するほか、被虐待者と虐待者を分離する場合の緊急受け入れ先である施設の居室数の確保に努めます。 	<p>高齢者虐待については、市民の知識や理解を深めるため、パンフレットを配布するなど、普及・啓発に努めます。また、高齢者福祉施設従事者等に対し、その資質向上を図るため研修を実施するとともに、高齢者虐待防止の指導・監督を強化します。</p>	<p>引き続き、高齢者虐待の実態把握に努める。</p>
(2) 成年後見制度への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者が認知症や介護の必要な状態になっても、生命や財産が守られ尊厳ある暮らしが継続できるよう、成年後見制度などの利用を支援します。 ○ 成年後見支援センターの事業を広く市民に啓発・広報し、成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用促進を図るほか、引き続き市民後見人の養成を行うとともに、高齢者の権利擁護のための取組みを支援します。 	<p>高齢者が認知症や介護が必要な状態になっても、尊厳のある暮らしが継続できるよう、成年後見制度の利用支援を行います。また、平成28年度から生活支援員の確保などの体制強化に努めました。</p>	<p>ほぼ計画通りに実施した。今後、高齢化率の上昇にともない成年後見を必要とする方の増加も見込まれているので、事業継続を図り、必要な支援を行う。</p>

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における計画事業の取組み及び評価（概要）

【計画期間：平成27年度～29年度】

資料 2

4 介護基盤の整備

	今後の取組	平成28年度取組結果及び29年度取組状況	現段階における評価と今後の取組み
(1) 介護保険施設等の適正な整備	<p>【居宅系の介護予防サービス】【居住系の介護予防サービス】 介護保険施設等の適正な整備に必要な、国の施策の方向性、利用者のニーズ、各種推計資料などの情報の提供に努めてまいります。</p> <p>【居宅系サービス】 ○居宅系サービスについては、指定居宅サービス事業者など連絡会議などを通じて適切な情報提供を行い、民間事業者の参入を促しサービス提供体制の充実を図ります。</p> <p>【施設・居住系サービス】 ○介護老人福祉施設等の入所希望などの状況を踏まえ、地域的な配置バランスに留意しながら、介護老人福祉施設等、特定施設入居者生活介護等や認知症対応型共同生活介護の充実を図ります。</p>	<p>引き続き、介護保険施設等の適正な整備に必要な、国の施策の方向性、利用者のニーズ、各種推計資料などの情報の提供に努めてまいります。 整備量については、資料1で介護保険事業課より説明。</p>	<p>ほぼ計画通りに実施した。 集団指導や事業者連絡会議などを通じて、引き続き必要な情報提供に努め、計画的な整備を推進する。</p>
(2) 介護人材の確保・定着の促進	<p>○引き続き、関係団体などで構成する協議会において対策を協議・検討するとともに、医療・介護サービス提供体制を推進するために千葉県に設置される基金の活用を検討し、将来を見据えた参入促進・人材育成や介護職員の定着支援のための取組みを推進します。</p>	<p>介護職員初任者研修受講者に対し、経費の支援、小中学生向け介護啓発研修を2校実施しました。平成29年度は30校に拡大します。</p>	<p>ほぼ計画通りに実施した。 国の動向や施策を勘案しつつ、将来の要介護者数を見据えた参入促進・人材育成や介護職員の定着のための取組みを推進する。</p>

5 介護保険サービスの提供

	今後の取組	平成28年度取組結果及び29年度取組状況	現段階における評価と今後の取組み
(1) 介護保険サービスの提供見込み	<p>ア 被保険者数、要介護認定者数及びサービス利用者数の見込み イ サービス種類ごとの利用者数及びサービス量の見込み ウ 保険給付費及び地域支援事業費の見込み</p>	<p>介護保険管理課より別途説明。（資料1）</p>	/
(2) 低所得者への配慮	<p>○平成27年4月から、消費税増税分を財源とした公費の投入による低所得者（世帯員全員が市民税非課税の世帯）の保険料の軽減強化が行われる見込みです。 ○本市独自の保険料減免を引き続き実施するほか、施設などにおける居住費・食費の補足給付や社会福祉法人等利用軽減などの利用者負担軽減対策を実施するなど、低所得者に配慮した施策に努めます。</p>	<p>引き続き、低所得者に対する配慮を実施する。</p>	<p>引き続き、低所得者に対する配慮を実施する。</p>
(3) 介護給付適正化の推進	<p>○国が示した「第3期介護給付適正化計画に関する指針」を踏まえ、引き続き「要介護認定の適正化」、「ケアプランの点検」、「住宅改修等の点検」、「医療情報との突合・縦覧点検」、「介護給付費通知書」の主要5事業を実施します。また、介護予防に資する効果的なプランとするため、介護支援専門員のスキルアップやケアプランの点検の充実を図ります。 ○介護保険制度の適正な運営とよりよいケアの実施を図るため、介護サービス事業者への実地指導を実施するとともに、不正が疑われる事業者に対しては監査を実施し、必要な措置を講じます。</p>	<p>集団指導及び連絡会議などを開催し、必要な情報等の提供に努めました。 公平要介護認定の実施、適正な介護サービスの提供に努めました。</p>	<p>引き続き、集団指導及び連絡会議などを開催し、必要な情報等の提供に努める。 公平要介護認定の実施、適正な介護サービスの提供に努める。</p>

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について
 ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。（数値目標に対する達成率：100%以上）
 ○ 数値目標を概ね達成している。（数値目標に対する達成率：90%～100%未満）
 △ 数値目標を下回っている。（数値目標に対する達成率：50%～90%未満）
 ◆ 数値目標を大幅に下回っている。（数値目標に対する達成率：50%未満）

資料2・別紙

第4章
1 地域包括ケアシステムの構築・強化

(1) あんしんケアセンターの機能強化

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）						6期計画（27～29年度） 27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)		
						27年度			28年度			29年度				
						数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況	取組結果	数値目標		取組状況	
1	あんしんケアセンター職員の増員	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者の増加などにより、地域包括ケアシステムの中心となるあんしんケアセンターに求められる役割も増大しています。地域の中で、きめ細かく相談などに応じることができるよう、必要な職員の増員を行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(1) P32	地域包括支援センター運営事業費	包括三職種人数	人	108	108	包括三職種を102人から108人に増員したことで、きめ細かく相談に応じることができ、相談件数39,178件と前年比16.5%増加した。(629,116千円)	109	109	包括三職種を108人から109人に増員した。(727,543千円)	138	包括三職種を109人から137人に増員する。(823,938千円) ※あんしんケアセンター支援体制整備(12,000千円)を含む	計画どおり実施している。今後も、引き続き、高齢者人口に応じた包括三職種人数を配置し、きめ細かな対応をとれる体制を整えていく。
2	あんしんケアセンターの増設	地域包括ケアシステムを効果的に推進するため、高齢者人口の伸びなどにより日常生活圏域を見直し、平成29年度にあんしんケアセンターを6か所増設するとともに、行政並びにあんしんケアセンター間の相互調整などを行う基幹型機能を持つあんしんケア設置の検討を行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(1) P32	地域包括支援センター運営事業費	あんしんケアセンター設置数	か所	24	24	平成29年度の増設に向けて、日常生活圏域の見直しを行った。(629,116千円)	24	24	平成29年4月1日からセンター数24か所から30か所(出張所2か所)に増設するにあたり、公募による事業者選定及び受託法人へ設置準備に関する委託を行った。(657,503千円) ※うち、増設準備23,784千円	30	平成29年4月1日からあんしんケアセンター数を24か所から30か所(出張所2か所)に増設する。 花見川・稲毛・緑区の保健福祉センター、あんしんケアセンター支援体制整備を行う。(823,938千円) ※あんしんケアセンター支援体制整備(12,000千円)を含む	計画どおり実施しており、29年度にあんしんケアセンターを24か所から30か所に増設した。また、あんしんケアセンター支援体制を整備している3区のうち、花見川区については、主任介護支援専門員、社会福祉士が欠員となっており、人材確保が課題である。残りの3区(中央区、若葉区、美浜区)の体制整備については、29年度中、引き続き検討していく。

(2) 在宅医療・介護連携の推進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）						6期計画（27～29年度） 27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)					
						27年度			28年度			29年度							
						数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況	取組結果	数値目標		取組状況				
1	地域の医療・介護・福祉資源の把握及び活用	市内の在宅医療・介護・福祉に係る施設を調査し、情報の把握と共有を図るとともに、その活用に努めます。	地域包括ケア推進課健康企画課	4章1-(2) P36	在宅医療・介護連携事業費	設定不可				市内の病院及び一般診療所に対し、在宅医療に係るアンケート調査を実施し、在宅医療を実施する医療機関の把握に努めた。				在宅医療・介護資源調査を実施し、市内の在宅医療・介護の実態を把握すると共に、将来必要な資源量の推計を実施する。(8,000千円)		事業者へ委託し、在宅医療・介護資源調査を市内関係施設に対し実施した。レセプトデータ等のデータ分析及び集計結果から市内の在宅医療・介護の実態を把握し、将来必要な資源量の推計を行った。		得られた推計結果等を関係者間で共有するためのわかりやすい提示方法や共有範囲等について、関係職種と協議しながら検討する。(0千円)	計画どおり実施している。平成28年度に実施した調査及び推計結果を踏まえて、在宅医療介護に関わる関係者と協議しながら、市の目指すべき在宅医療介護提供体制の姿を検討する。
2	地域ケア会議の推進	地域の医療・介護・福祉・生活支援などの関係者で構成される地域ケア会議を開催し、個別事例の支援方法を検討するとともに、事例の積み重ねから見えてくる地域特有の課題を共有し、行政への提言を行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(2) P36	在宅医療・介護連携事業費	多職種連携会議の開催数(在宅医療推進事業委託)	回	12	12	顔の見える関係づくりを目的とし医療・介護関係者が一堂に介した多職種連携会議を各区で開催した。(1,029千円)	12	12	引き続き、各区で多職種連携会議を開催すると共に、会議開催への支援として多職種連携会議幹事に対する研修会の実施や、日常生活圏域ごとの多職種連携会議について実施可能な区から開催を推進する。(1,156千円)	12	引き続き各区で多職種連携会議を開催する。また、実施可能な区から日常生活圏域ごとの多職種連携会議を実施する。(1,156千円)	区域での多職種連携会議開催は全区で達成している。より小さな地域での密な連携を推進するため、日常生活圏域ごとの多職種連携会議を開催することを進めていく。また、多様な会議体を有機的に結び付け、効率的に地域課題を抽出及び解決へ導くための手法等を検討する。			
3	在宅医療・介護連携に関する研修の実施	病院勤務の医療職に対する認知症対応力向上研修や、介護職への医療に関する研修などを実施し、各職種のスキルアップを図るとともに、研修参加者間の連携を強化します。	地域包括ケア推進課健康企画課	4章1-(2) P36	在宅医療・介護連携事業費及び在宅医療・介護連携研修事業費	研修回数	回	6	17	「在宅医療介護に係る関係者間における情報共有」をテーマに千葉市在宅医療推進連絡協議会講演会を年1回開催した。また、「自立支援」をテーマにケアマネジャー及びリハビリ職の合同研修会を開催した。(224千円)	12	20	病院勤務の医療従事者等に対する認知症対応力向上研修を実施する他、引き続き各職種のスキルアップ及び連携を強化するための研修を実施する。(3,035千円)	18	引き続き、病院勤務の医療従事者等に対する研修や地域ごとの多職種研修会を実施すると共に、歯科医師、薬剤師、看護職員向けに認知症対応力向上研修を実施する。(6,146千円)	歯科医師、薬剤師、看護職員向け認知症対応力向上研修事業を平成29年度から開始した。さらに、病院勤務の医療従事者に対する認知症対応力向上研修や、区域で医療・介護職員向けの研修会など継続し開催している。引き続き、関係者へのヒアリングを実施しながら、効果的かつ効率的な研修の開催を検討していく。			
4	24時間365日の在宅医療・介護体制の構築	訪問診療を行う医師の育成や、既に実施している訪問歯科診療事業の拡充も含め、「(仮称)市認定在宅介護対応薬局」の認定などを行うことで、24時間365日の在宅医療・介護体制の構築を目指します。また、医療・介護などの関係団体が参加する「千葉市在宅医療推進連絡協議会」において、多職種間の連携を引き続き推進します。	地域包括ケア推進課健康企画課	4章1-(2) P36	在宅医療・介護連携事業費	設定不可				千葉市在宅医療推進連絡協議会を年2回開催し、在宅医療介護推進の課題に対し意見交換を実施した。また、市医師会へ委託し訪問診療医師増強研修事業を実施した。(2,029千円)			在宅医療介護対応薬剤師認定事業を開始する他、多職種連携会議等で在宅医療関係者に対し訪問歯科診療事業の周知に努める。また、引き続き千葉市在宅医療推進連絡協議会の開催及び訪問診療医師増強研修事業を実施する。(2,362千円※No.2、No.8と一部重複)		訪問診療医師増強研修及び在宅医療介護対応薬剤師認定事業では、140人の薬剤師を認定した。また、訪問歯科診療事業を関係会議での周知により、利用件数が増加し、認知度が高まった。	訪問診療医師増強研修及び在宅医療介護対応薬剤師認定事業、訪問歯科診療事業の周知を引き続き実施すると共に、訪問看護事業に対する支援策を検討する。(3,282千円※No.2、No.8と一部重複)	在宅医療・介護体制の構築に向け、訪問診療医師増強研修事業及び在宅医療介護対応薬剤師認定事業を開始し、計画を着実に推進している。今後、「千葉市在宅医療推進連絡協議会」等を介して関係職種間の連携に係る課題を把握し、連携推進を図るための支援を検討すると共に、連携事業の推進にて課題として挙げた訪問看護やその連携を支援するための施策を検討する。		

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
△ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位	6期計画(27～29年度)											
							27年度			28年度			29年度			27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)		
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況	取組結果	数値目標	取組状況			
5	在宅医療の充実	市立青葉病院は、平成9年から在宅医療支援病床を医師会と協力して運営しており、また、平成26年度より在宅療養後方支援病院として在宅医療を提供する医療機関(連携医療機関)と連携し、地域で在宅療養する患者の緊急入院を24時間受け入れるための体制を整備しています。また、平成27年度から市立海浜病院についても、在宅療養後方支援病院として体制の整備を図ることから、引き続き連携強化に努めます。	病院局 経営企画課	4章1-(2) P37	在宅療養後方支援病院の運営	設定不可	達成率	#DIV/0!	【市立青葉病院】 登録医療機関(訪問診療医)23機関 登録患者 101名 【市立海浜病院】 登録医療機関(訪問診療医)8機関 登録患者 21名 (0千円)	達成率	#DIV/0!	両市立病院において、在宅療養後方支援病院の運営を引き続き実施する。 (0千円)	達成率	#DIV/0!	【青葉病院 実績値】 登録医療機関(訪問診療医)24機関 登録患者 101名 【海浜病院 実績値】 登録医療機関(訪問診療医)9機関 登録患者 24名 (0千円)	両市立病院において、在宅療養後方支援病院の運営を引き続き実施する。 (0千円)	概ね計画通り進んでいる。	
6	在宅医療・介護連携支援センター(仮称)の運営	地域の在宅医療・介護関係者及びあんしんケアセンターに対して、在宅医療・介護連携に関する情報提供を行うなど、総合的な支援を行います。	地域包括ケア推進課 健康企画課	4章1-(2) P37	在宅医療・介護連携支援センター設置事業	設定不可	達成率	#DIV/0!	-	達成率	#DIV/0!	在宅医療・介護連携支援センター(仮称)の設置に向け、役割や機能、運営方法等について、千葉市在宅医療推進連絡協議会を含めた関係者へのヒアリングや意見交換を実施する。	達成率	#DIV/0!	千葉市在宅医療推進連絡協議会の中で議題に取り上げ、(仮称)在宅医療・介護連携支援センター設置に向けた意見交換を行った。	在宅医療・介護連携支援センター(仮称)の設置に向けて、役割や人員配置等具体的に検討する。 (0千円)	平成30年4月までに設置が求められている在宅医療・介護連携支援センター(仮称)について、在宅医療推進連絡協議会に専門部会を設置し、連携の課題をヒアリングしながら、その役割や機能、運営方法等を具体的に検討する。	
7	在宅医療・介護シンポジウムの開催	在宅医療・介護の連携に関する取組を紹介するほか、シンポジウムなどを開催することで、在宅医療・介護に対する市民の理解が深まるよう努めます。	地域包括ケア推進課 健康企画課	4章1-(2) P37	在宅医療・介護シンポジウム報償費	開催回数 回	1	1	市民が自助・互助・共助について考えるきっかけづくりとして、「認知症」をテーマに、市民講演会を開催した。	1	1	終末期を含めたライフスタイルについて、住民が考えるきっかけとなる講演会を開催する。 (59千円)	1	1	平成29年1月14日に、「人生の最期を楽しく、賢く、自分らしく」をテーマとし、市民講演会を開催し、141名の市民が参加した。	引き続き、終末期を含めたライフスタイルについて市民が考えるきっかけとなる講演会を、市民が参加しやすい場所で開催し、多くの市民が参加して頂けるように工夫する。 (438千円)	計画どおり実施している。平成27年度は「認知症」、平成28年度は「終末期」をテーマとし、市民講演会を開催した。他の事業・団体が実施する講演会と日程やテーマが重複しないよう、調整・検討していくとともに、会場の場所や広さ等に限りがあるため、機械を捉えて、在宅医療・介護に関する取組を伝える場を設けたり、一つのテーマについて小さな地域ごとに繰り返し開催するなど、開催方法や周知方法を工夫する。	
8	訪問診療を行う医師の育成	積極的に訪問診療を行っている医師が指導役となり、未経験の医師に対し同行実地研修を実施し、必要な知識やスキルを習得することにより、訪問診療を行う医師の増員を図ります。	地域包括ケア推進課 健康企画課	4章1-(2) P37	在宅医療・介護連携事業費	研修を受けた医師の数 (同行実地研修)	5	20	訪問診療の実施に必要な事務手続きや器具・衛生材料等を修得する研修を実施後、訪問診療にベテランの医師と未経験の医師がペアとなり訪問診療へ同行する研修を、市医師会へ委託し実施した。(1,000千円※No.4と重複)	10	22	引き続き、訪問診療を行う医師の増強を図るため、市医師会へ委託し、訪問診療医師増強研修を実施する。 (1,000千円※No.4と重複)	20	20	引き続き、医師会に委託し、同行訪問研修を実施すると共に、かかりつけ医の訪問診療に対する現状を把握しながら、ニーズに合った研修の組み立てを検討する。 (1,816千円)	計画どおり実施している。より多くの医師に参加いただき、同行研修を効果的に実施できるよう、かかりつけ医の訪問診療の実態を、市医師会の協力を得ながら把握し、ニーズに合った研修の組み立てを検討する。		
9	関係者間をつなぐクラウド型システムの導入	患者の基本情報、医師やケアマネジャーなどの診療・訪問履歴及び身体状況などについて、個人情報取扱に十分に配慮しながらクラウドコンピューティングの技術を活用し、関係者が共有できるシステムを導入します。導入に当たっては、平成28年度から医療や介護などの関係者と検討を開始し、平成30年度以降の実施を目指します。	地域包括ケア推進課 健康企画課	4章1-(2) P37	在宅医療・介護連携事業費	設定不可	達成率	#DIV/0!	千葉市在宅医療推進連絡協議会等への意見聴取や、各関係職種に対するヒアリングを実施した。	達成率	#DIV/0!	引き続き、千葉市在宅医療推進連絡協議会等への意見聴取や、各関係職種に対するヒアリングを実施し、導入に対する検討を行う。 (0千円)	達成率	#DIV/0!	多職種連携会議等を通じて各関係職種へヒアリングを行い、情報共有の現状について把握し、既存のツールの周知と共に、システム導入に対する検討を行う(0千円)。	引き続き、多職種連携会議等を通じて各関係職種へヒアリングを行い、情報共有の現状について把握し、既存のツールの周知と共に、システム導入に対する検討を行う(0千円)。	計画どおり実施している。引き続き、市内の情報共有の実態を把握しながら、千葉市在宅医療推進連絡協議会等への意見聴取や、各関係職種に対するヒアリングを実施し、導入に対する検討を行っていく。	
10	介護予防ケアプランの充実	要支援者の自立支援を推進するため、あんしんケアセンターにおいて新規に作成している介護予防ケアプランの点検を行い、介護予防ケアプランの充実を図ります。また、介護支援専門員が、より適切な介護予防ケアプランを作成できるよう、スキルアップ研修を実施します。	地域包括ケア推進課 介護保険課	4章1-(2) P38	ケアプラン等点検事業	設定不可	達成率	#DIV/0!	あんしんケアセンター職員を対象に、総合事業と介護予防ケアマネジメントについての研修会を2回実施。137名参加。(410千円)	達成率	#DIV/0!	介護予防ケアマネジメントの手引きを作成し、手引きに沿った介護予防ケアマネジメント研修を実施する。 (3,832千円)	達成率	#DIV/0!	介護予防ケアマネジメントの手引きを作成し、研修会を1回実施した。また、あんしんケアセンターを対象にケアプラン点検を実施した。 (3,798千円)	介護予防ケアマネジメントの手引きを基にケアプランの自己点検を行い、プランの点検が必要と思われるケースについて、「ケアマネジメント支援のための地域ケア会議」をモデル的に実施し、自立支援に向けた推進体制を検討する。 (4,208千円) ※29年度より地域ケア会議推進事業に予算を組替。	計画どおり実施している。全あんしんケアセンターを対象にケアプラン点検を行うことで、自立支援に資するケアプラン作成の意識付け、プランの質の標準化を進めることができた。自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントが推進されるよう、地域ケア会議の活用について29年度中に検討していく。	
11	家族介護者支援	在宅で高齢者を介護している家族や支援者を対象に各区1回、家族介護者研修を実施します。家族介護者が特に困難を感じている介護技術(排泄介助、食事介助方法など)について、訪問介護事業所などが要介護(要支援)者等宅を訪問し、介護技術の講習を行う「家族に対する介護技術養成事業(訪問レッスン)」を実施するとともに家族介護者の介護方法に関する相談を行う家族介護者支援センターを設置し、家族介護者の身体的・精神的負担の軽減や介護者(養護者)の介護技術の向上を図ります。	高齢福祉課	4章1-(2) P38	家族介護者支援事業	講習実施 世帯 世帯	300	37	家族介護者支援センターを設置(委託先:千葉県ホームヘルパー協議会)し、家族介護者向けの電話相談(相談件数96件)や訪問レッスンを実施するとともに、家族介護者研修を6回開催(受講者数29人)し、介護者の負担軽減を図った。 (5,732千円)	300	58	在宅で高齢者を介護している家族の相談窓口である家族介護者支援センターを設置(委託先:千葉県ホームヘルパー協議会)し、電話相談及び訪問レッスンを実施するとともに、家族介護者研修を6回開催(受講者数75人)し、介護者の負担軽減を図った。 (6,264千円)	300	300	在宅で高齢者を介護している家族の相談窓口である家族介護者支援センターを設置(委託先:千葉県ホームヘルパー協議会)し、電話相談及び訪問レッスンを実施するとともに、家族介護者研修を6回開催する。 (8,564千円)	在宅で高齢者を介護している家族の相談窓口として家族介護者支援センターを設置し、訪問レッスンを実施したことで、家族介護者への支援を強化できた。効果的な周知方法を検討していく。		
13	地域の保健・医療・福祉関連連携の強化	あんしんケアセンターと市内医療機関との研修会や、千葉市訪問看護ステーション協議会、ケアマネジャー及び市内医療機関との研修会を開催し、連携強化を図ります。	病院局 経営企画課	4章1-(2) P38	市内の医療機関や介護事業者等との研修会・勉強会の開催	設定不可	達成率	#DIV/0!	【市立青葉病院】 ・市内の医療機関との公開カンファレンス等を実施 6回 ・市内の介護事業者等との研修会等 13回 【市立海浜病院】 ・市内の医療機関との公開カンファレンス等を実施 5回 ・市内の介護事業者等との研修会等 7回 (0千円)	達成率	#DIV/0!	市内の医療機関との公開カンファレンスや、介護事業者等との研修会・勉強会を開催する。 (0千円)	達成率	#DIV/0!	【市立青葉病院】 ・市内の医療機関との公開カンファレンス等を実施 9回 ・市内の介護事業者等との研修会等 7回 【市立海浜病院】 ・市内の医療機関との公開カンファレンス等を実施 7回 ・市内の介護事業者等との研修会等 3回 (0千円)	市内の医療機関との公開カンファレンスや、介護事業者等との研修会・勉強会を開催する。 (0千円)	概ね計画通り進んでいる。	

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
△ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

(3) 認知症施策の推進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画(27～29年度)								27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)		
								27年度			28年度			29年度				
								数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況	取組結果	数値目標		取組状況	
1	認知症初期集中支援チームの設置・運営	訪問看護師や作業療法士などの専門スタッフが、認知症と疑われる人、認知症の人及びその家族の自宅を訪問し、認知症の進行による症状についての説明、本人に対する価値観の聞き取り及び生活環境に応じた助言などを行い、自立生活を支援します。	地域包括ケア推進課	4章1-(3) P41	認知症初期集中支援チーム運営事業	設置数	か所	1	1	中央区にて認知症の方または認知症と疑われる方の自宅を訪問し、初期集中支援を実施した(対象10人、訪問回数述べ85回)。(6,700千円)	2	3	1チーム増設し、他区での活動を開始する。(14,168千円)	H29年1月より2チーム増設し、稲毛区・緑区でも活動を開始した(対象22人、訪問回数延べ201回)。	2	3	3チーム体制で、中央区・稲毛区・緑区を対象に活動しているが、一部他区での活動を開始する。(21,252千円)	計画どおり実施している。チームが活動していない区のあんしんケアセンターから、訪問依頼があがっていることから、今後現在のチームの活動範囲を拡大するとともに、チームの増設を検討することで、早期に市内全域で活動できる体制を構築していく必要がある。
								達成率	100.0%		達成率	150.0%		達成率				
								進捗度	☆		進捗度	☆		進捗度				
2	千葉県認知症疾患医療センターの機能強化	認知症の人やその家族、かかりつけ医などから相談を受け、症状に対する助言や地域のサポート医の紹介、必要に応じて認知症の原因疾患を特定する鑑別診断などを行います。また、あんしんケアセンターやケアマネジャーに対し認知症の対応力向上のための研修などを行っています。このような機能を強化するため、相談員の増員を行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(3) P41	認知症疾患医療センター運営事業	設置数	か所	1	1	認知症に関する専門医療相談(電話相談、面接相談等)の件数は増加しており、相談員を増員して対応している。また、認知症疾患医療連携協議会を開催し、医療機関やあんしんケアセンターなどの関係機関との連携を図った。(11,450千円)	1	1	引き続き認知症に関する専門医療相談、鑑別診断等を行い、地域の医療機関やあんしんケアセンター、認知症初期集中支援チーム等の関係機関との連携を図った。(11,450千円)	1	1	引き続き認知症に関する専門医療相談、鑑別診断等を行い、地域の医療機関やあんしんケアセンター、認知症初期集中支援チーム等の関係機関との連携を図る。(11,450千円)	計画どおり実施している。引き続き、市民への周知を行い、ケース相談会等を通して関係機関との連携強化を図っていく。	
								達成率	100.0%		達成率	100.0%		達成率				
								進捗度	☆		進捗度	○		進捗度				
3	認知症こども“力”(ちから)プロジェクトの推進	小・中学校、高等学校などで「認知症サポーター養成講座」を開催します。また、多世代交流イベントなどにおいて、子どもたちへの認知症に関する啓発活動を推進することで、認知症の人にやさしいまちづくり、認知症に対する偏見の払拭及び未来の介護人材の育成を図ります。	地域包括ケア推進課	4章1-(3) P41	認知症こども“力”(ちから)プロジェクト(任意)	設定不可				美浜区、若葉区等の小・中学校で「認知症サポーター養成講座」を実施した。小・中学生を対象とした「認知症キッズワークショップ」を開催し、子ども向けの認知症パンフレットを作成した。			引き続き市内の小・中学校で「認知症サポーター養成講座」を実施した。小・中学校の「教職員のための認知症ワークショップ」を開催し、子どもたちへの効果的な教育方法について検討する。			引き続き6区の小・中学校で「認知症サポーター養成講座」を実施する。小学生対象の「認知症ワークショップ」を開催し、子どもたちへの効果的な教育方法について検討する。(0千円)	計画どおり実施している。引き続き、全ての区で小・中学生対象の認知症サポーター養成講座を開催できるよう、取組を継続していくとともに、子どもたちへの認知症に関する効果的な啓発活動を検討していく。	
								達成率	#DIV/0!		達成率	#DIV/0!		達成率				
								進捗度			進捗度			進捗度				
4	MCI(軽度認知障害)の早期発見とケア	軽度認知障害の人は、そのまま認知症に移行する場合のほか、認知症を発症しない場合もあるとされていることから、早期発見に必要な簡易判定機材の導入や適切なケアについて調査・研究を行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(3) P42	軽度認知機能障害への対応(任意)	設定不可				判定検査機器をイベント時に導入し、機器導入方法やケア等の課題を検討した。			先進的に導入している市への情報収集等を行い、さらに検討をしていく。また、医療機関、認知症疾患医療センター、初期集中支援チーム、あんしんケアセンター等の連携の取り方等について検討していく。			あんしんケアセンターへ判定機器の貸し出しを9回実施し、地域のイベントや介護予防事業で簡易判定を実施した。軽度認知障害と判定された方へのフォロー体制が課題となっている。(131千円)	計画に沿って取り組みを進めており、情報収集やモデル実施を行い、簡易判定の活用について検討をした。導入にあたっては、費用対効果の検証や判定された方への適切な対応に向けた体制構築が十分でないことが課題となっている。このため、現時点では、簡易判定は、普及啓発事業の一環としてパンフレット配布と併せて実施することが妥当と分析している。なお、簡易判定が、早期発見・早期対応のツールとしてうまく機能していくためには、市民へ認知症についての啓発をしていくとともに、早期発見された方へ適切な助言ができる専門職を増やしていく必要があり、これらの体制構築に引き続き取り組んでいく。(540千円)	
								達成率	#DIV/0!		達成率	#DIV/0!		達成率				
								進捗度			進捗度			進捗度				
5	標準的な認知症ケアパスの作成・普及	認知症の進行に伴い生じてくる症状や医療・介護サービスなどの情報をまとめた「標準的な認知症ケアパス」を作成・配布します。	地域包括ケア推進課	4章1-(3) P42	認知症ケアパスの作成・普及(任意)	設定不可				千葉県認知症ケアパスを作成し、普及のため市民向けに「認知症ケアパス講演会」を開催した。			利用者の声を反映した改定版の認知症ケアパスを作成。普及のため、年2回「認知症ケアパス講演会」を開催した。(1,175千円)			機会を捉えて関係機関へ配布・普及を図るとともに、「認知症ケアパス講演会」の開催を通して、一般市民への普及に努めていく。(1,620千円)	計画どおり実施している。早期発見のためのチェックリストや若年性認知症に関する記述を加えるなど、より充実した内容となるよう、引き続き検討していく。	
								達成率	#DIV/0!		達成率	#DIV/0!		達成率				
								進捗度			進捗度			進捗度				
6	かかりつけ医の認知症対応力向上研修	身近なかかりつけ医が早期に認知症を発見し、専門医に繋ぐことができるよう認知症診断の知識・技術などの習得を目的とした研修を実施します。	地域包括ケア推進課	4章1-(3) P42	かかりつけ医認知症対応力向上研修事業費	修了者延べ数	人	275	193	引き続き研修の実施回数を増やし、修了者の増加につなげているが、修了したにもかかわらずその情報公開を拒む医師もいた。(852千円)	357	196	市医師会の協力の下、研修の開催方法を工夫しながら研修を実施し、修了者を増やすことや、情報公開への協力を求めることで認知症の人への支援体制を構築していく。(853千円)	439	196	市医師会の協力の下、研修会の内容や日程を参加しやすい組み立てとするよう工夫することで、新規受講者や修了者の増へ繋がるよう努める。	研修に参加していただける医師の増加に向けた取組が課題となっている。より効果的な研修となるよう、市医師会の協力の下、開催方法を工夫するとともに、新規受講者の開拓の方法を検討していく。	
								達成率	70.2%		達成率	54.9%		達成率				
								進捗度	△		進捗度	△		進捗度				

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
 ○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
 △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
 ◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）									
								27年度			28年度			29年度		6期計画（27～29年度） 27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	
								数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況	取組結果	数値目標		取組状況
7	認知症サポート医の養成	認知症に関する専門的な知識と技術を有し、かかりつけ医への助言などを行うとともに、専門医療機関やあんしんケアセンターなどとの連携を図る「認知症サポート医」を養成します。	地域包括ケア推進課	4章1-(3) P42	認知症サポート医養成研修事業費	延べ養成人数	人	24	34	養成人数の目標値に到達した。(50千円)	26	39	地域での医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制を構築していくと共に、認知症サポート医の活動支援やフォローアップ研修の実施など検討する。(58千円)	新規の認知症サポート医を養成しながら、活動実態の把握に努め、活動支援策を検討した。(52千円)	28	認知症サポート医の活動実態を把握しながら、活動支援策や地域での医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制の構築を検討する。(58千円)	養成者数は目標値を達成しており、計画どおり実施できているが、認知症サポート医の活動は、各自の自主活動に負うところが大きいため、今後、活動支援やフォローアップ研修の実施などについて、検討を進める。
								達成率	141.7%		達成率	150.0%					
								進捗度	☆		進捗度	☆					
13	認知症サポーターの養成	認知症に関する正しい知識をもち、地域や職域において認知症の人やその家族を支援する認知症サポーターを養成します。	地域包括ケア推進課	4章1-(3) P43	認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成数	人	30,630	35,097	認知症サポーター養成講座を201回開催し、10,266人の認知症サポーターを養成した。(2,279千円)	37,930	46,083	引き続き、依頼に基づいて講座を開催する。小・中学校や職域など比較的若い世代を対象とした講座の開催を増やす。(1,990千円)	認知症サポーター養成講座を179回開催し、10,986人の認知症サポーターを養成した。	45,000	引き続き、依頼に基づいて講座を開催する。小・中学校や職域など比較的若い世代を対象とした講座の開催を増やす。(1,721千円)	計画どおり実施している。民間企業からの講座の開催要請や、小・中学生対象の講座が増加したこともあり、受講人数は大幅に増えている。今後は、講座の開催が比較的少ない、若い世代や職域を対象に、認知症サポーターのさらなる養成と共に、認知症サポーター向けの上級講座の開催についても検討していく。
								達成率	114.6%		達成率	121.5%					
								進捗度	☆		進捗度	☆					
14	認知症コーディネーターの養成	認知症の人を地域で総合的に支援する「認知症コーディネーター」を養成し、千葉県認知症疾患医療センター及びあんしんケアセンターに配置します。	地域包括ケア推進課	4章1-(3) P43	認知症コーディネーター及び認知症地域支援推進員の配置(任意)	配置数	か所	25	22	認知症コーディネーターを4人、認知症地域支援推進員を15人養成し、配置数が22カ所へ増加した。	25	26	認知症コーディネーター及び認知症地域支援推進員を養成し、すべてのあんしんケアセンターへの配置を目指す。	認知症コーディネーターを4人、認知症地域支援推進員を16人養成し、配置数が26カ所へ増加した。	30	引き続き、認知症コーディネーター及び認知症地域支援推進員を養成し、増設分を含めた全てのあんしんケアセンターへの配置を目指す。(570千円)	ほぼ計画どおり実施している。引き続き養成者数を増やし、増設されたあんしんケアセンターへも配置を行う。また、認知症地域支援推進員とともに、認知症に関する様々な施策において、その能力を発揮し、活躍できるよう、企画・立案や実践の場を創出していく。
								達成率	88.0%		達成率	104.0%					
								進捗度	△		進捗度	☆					
15	認知症カフェの整備	認知症の人とその家族、地域住民及び専門スタッフが集い、認知症の人を支える繋がり支援し、家族の介護負担の軽減などを図るため、認知症カフェの開設を支援します。	地域包括ケア推進課	4章1-(3) P43	千葉県認知症カフェ設置事業(千葉県認知症カフェ設置促進モデル事業)	設置数	か所	2	5	認知症カフェに関するニーズ等を聞き取り、その結果と考慮して、認知症カフェの設置や運営などの費用の一部補助を行った。また、認知症カフェ運営者や関係のある方を対象の交流会の開催を支援した。(717千円)	2	7	引き続き、認知症カフェの設置や運営などの費用の一部補助を行う。また、認知症カフェ運営者や関係のある方を対象の交流会の開催を支援していく。認知症カフェの情報をPRしていく。(400千円)	認知症カフェの設置や運営などの費用の一部補助を行った。また、認知症カフェ運営者や関係のある方を対象の交流会の開催(認知症地域支援推進員主催)協力し、情報交換等を行った。認知症カフェの情報をホームページに掲載し、PRした。(299千円)	8	認知症カフェの設置や運営などの費用の一部補助を行う。認知症カフェの運営等に係るニーズを調査し、支援方法を検討していく。認知症カフェ運営者や関係のある方を対象の交流会の開催協力を継続して行っていく。認知症カフェの情報をホームページ等で引き続きPRしていく。(400千円)	計画どおり実施している。認知症カフェの設置を促進するとともに、継続して運営できるよう、支援を行っていくことが課題である。費用補助のあり方や運営者間での情報交換等について、引き続き検討を進めていく。また、認知症カフェの情報をPRし、その活動を広く周知するとともに、利用したい方が身近な地域で気軽に参加できるような体制を構築していく。
								達成率	250.0%		達成率	350.0%					
								進捗度	☆		進捗度	☆					

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について
 ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
 ○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
 △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
 ◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

(4) 生涯にわたる健康づくりの推進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画(27～29年度)								27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)		
								27年度				28年度					29年度	
								数値目標	実績	取組結果	進捗度	数値目標	実績	取組状況	取組結果		数値目標	取組状況
1	食生活改善の推進	地域において食生活改善のためのボランティア活動を行う食生活改善推進員を育成し、健全な食生活の実現を支援します。	健康支援課	4章1-(4) P46	食育推進事業(食生活改善推進員養成講座)	食生活改善推進員数	人	330	295	花見川区健康課を会場に食生活改善推進員養成講座を開催し、食生活改善推進員の増加に努めた。(3,954千円)	330	295	稲毛区健康課を会場に食生活改善推進員養成講座を開催し、食生活改善推進員の増加に努めた。(4,205千円)	330	緑区健康課を会場に食生活改善推進員養成講座を開催し、食生活改善推進員の増加に努めた。(4,199千円)	・第2次千葉県食育推進計画の数値目標である330人を目指し、食生活改善推進員の養成・育成に取り組む。高齢等により、解職者もでていますが、毎年度、育成し食生活改善推進員数は、維持している状況である。		
3	地域健康づくり支援ネットワークの推進	各区での健康づくりの課題に応じた事業を推進するため、「地域健康づくり支援連絡会」などのネットワークを活用し、健康づくりの推進に努めます。	健康支援課	4章1-(4) P46	地域健康づくり支援ネットワーク事業	地域健康づくり支援連絡会実施回数	回	12	12	各区2回、地域健康づくり支援連絡会を開催し、健康づくりのための地域資源等について情報交換を行った。(275千円)	12	12	地域健康づくり支援連絡会を各区2回実施する予定。(333千円)	12	地域健康づくり支援連絡会を各区2回実施予定。(498千円)	・地域健康づくり支援連絡会は、各区2回の開催が定着でき、さらに関係者の出席もできている。各区の地域特性を踏まえた取組みの構築しつつあると評価できる。		
4	ヘルスサポーターの養成	健康づくりのため、運動に関する正しい知識に基づく市民の自主的な活動を推進することを目的として、地域の中心となって運動を継続するヘルスサポーター(健康づくり支援者)を養成します。	健康支援課	4章1-(4) P46	ヘルスサポーター養成教室	実施回数	回	75	68	中央区で8回、中央区以外の5区で各区12回実施し、291人のヘルスサポーターを養成した。(184千円)	48	48	実施回数を各区1コース4回を年間2コースに見直し、年間48回の実施となる予定。各区でフォローアップ教室を実施する予定。(174千円)	48	各区2コース(1コース×4回)を実施できた。開催会場としては、区保健福祉センターと公民館等を開催会場として取り組んだ。(174千円)	・ヘルスサポーター(健康づくり支援者)は、各区において2回開催できている。今後、区保健福祉センターを会場とすることに限らず、自治会や公民館等、住民の身近な場所での開催を検討する必要がある。		
7	歯・口腔の健康づくりの推進	歯科健康教育・相談、ヘルシーカムカムなどのイベントを開催し、歯・口腔の健康づくりに関する正しい知識の普及・啓発を行うことで、むし歯、歯周病予防及び口腔機能(摂食・嚥下など)の向上に努めます。	健康支援課	4章1-(4) P47	・8020運動推進事業(ヘルシーカムカム) ・介護予防教育(歯つむぎ健口教室)(健康教育) ・介護予防相談の(歯科相談)	設定不可	人	達成率	#DIV/0!	イベント事業はさまざまな年代を対象とした事業内容を実施しているが、特に口腔機能低下防止の体操の普及啓発を27年度おこなった。参加者8,587人	達成率	#DIV/0!	各事業ごとに参加者の増加を図るための周知方法の検討を行う。幅広い対象者に多角的な内容で知識の普及を目指し「8020運動」の推進を図る。	達成率	#DIV/0!	それぞれの事業において、口腔機能の維持・向上のための体操を実施した。イベント事業では高齢者以外にも普及啓発できた。(参加者8,613人)	他事業との連携を図り、口腔機能向上の体操や口腔清掃方法などを啓発する機会を増加させることで、市民の意識改善を促す。	各事業ごとに周知方法の検討を行い、参加者の増加を図ることができた。さらに、毎年実施しているイベント「ヘルシーカムカム」を含め各事業において、幅広い対象者に口腔ケアについての知識を普及した。引き続き、住民自ら取り組めるよう「8020運動」の推進していく。
8	がん検診等の推進	がんなどの早期発見・早期治療を図るため、がん検診、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診などを実施します。	健康支援課	4章1-(4) P47	・がん検診事業 ・歯周病検診 ・骨粗しょう症検診	受診率	%	50	27.8	市民ニーズの高い検診時の子どもの見守りについては、各区保健福祉センターにおいて実施(25回)するほか、子宮がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券を一定の年齢に送付した。また、前年度に引き続き乳がん・子宮がん検診の同時開催(13回)や夜間検診(2回)、スーパー等での検診(1回)を実施し、受診率向上を図った。	50	26.0	集団検診において、胃・大腸・肺がん・骨粗しょう症検診の同時実施を保健所会場で1回実施する。また、昨年度に引き続き子宮・乳・大腸がん検診の無料クーポン券を一定の年齢に送付した。また、前年度に引き続き乳がん・子宮がん検診の同時開催(13回)や夜間検診(2回)、スーパー等での検診(1回)を実施し、受診率向上に努めた。	50	胃がん検診として内視鏡検査(50歳以上に2年に1回)を導入する。また、集団検診において、胃・大腸・肺がん・骨粗しょう症検診の同時実施、スーパー等での検診会場数の拡充及びWeb予約を導入する。昨年度に引き続き子どもの見守り、子宮・乳がん検診の同時実施、夜間検診、土曜の検診、商業施設での検診を実施し、受診率向上を図る。	受診可能な種類のがん検診等の受診券を対象者に一括送付するほか、引き続き乳がん・子宮がんの同時開催や夜間検診、検診時の子供の見守り等実施、スーパー等の人集まる会場での検診実施やWeb予約の導入など、検診を受診しやすい環境づくりを進めている。しかし、国が示す一次検診受診率50%に到達しないため、今後も広報や啓発に努め未受診者への受診勧奨等を実施していく必要がある。		
9	健康診査等の推進	国民健康保険及び後期高齢者医療制度の加入者に対して、生活習慣病の予防・早期発見と健康の保持・増進を目的とした特定健康診査又は健康診査を実施します。また、特定健康診査で生活習慣病のリスクがあると判定された方に特定保健指導を実施します。	健康保険課	4章1-(4) P47	特定健康診査等事業	受診率	%	41.0%	36.1%	従来のはがきやポスターなどによる受診勧奨に加え、未受診者への電話勧奨(56,588人)や過去5年間の受診者への健診結果の経年推移通知(78,388人)などを実施した。(607,686千円)	43.0%	36.0%	未受診者へののはがきによる勧奨(99,891人)、電話勧奨(52,917人)や過去5年間の受診者への健診結果の経年推移通知(79,292人)などを実施した。(586,855千円)	45.0%	未受診者への勧奨について、民間事業者から企画提案を受け、最も効果的・効率的な提案を採用し、勧奨を実施する。(708,634千円)	千葉県国民健康保険データヘルス計画に基づき、平成27年度から受診勧奨の拡充(未受診者への電話勧奨、過去5年間の受診者への健診結果の経年推移通知等)を行った結果、受診率は平成26年度の33.4%から平成27年度の36.1%へと大幅に上昇した。一方で、平成27年度から平成28年度にかけてはほぼ横ばいと見込まれ、同じ勧奨策では効果が限定的であることから、平成29年度には民間事業者からの企画提案により勧奨策を見直す。		
					後期高齢者保健事業	設定不可		達成率	#DIV/0!	千葉県後期高齢者広域連合からの委託を受け、後期高齢者医療被保険者を対象に健康診査を実施している。受診者28,751人、受診率30.9%。(318,946千円)	達成率	#DIV/0!	千葉県後期高齢者広域連合からの委託を受け、後期高齢者医療被保険者を対象に健康診査を実施している。(339,327千円)		千葉県後期高齢者広域連合からの委託を受け、後期高齢者医療被保険者を対象に健康診査を実施した。(338,848千円)	千葉県後期高齢者広域連合からの委託を受け、後期高齢者医療被保険者を対象に健康診査を実施している。(398,122千円)	千葉県後期高齢者広域連合からの委託を受け、後期高齢者医療被保険者を対象に健康診査を実施している。	
10	健康教育	健康に関する正しい知識の普及を図るため、講演会などの集団健康教育を行うほか、禁煙に関する個別健康教育を実施します。また、様々な機会を捉えて、COPD(慢性閉塞性肺疾患)の普及・啓発に努めます。	健康支援課	4章1-(4) P47	健康教育	集団健康教育参加延べ人数	人	9,592	13,316	各区で糖尿病教室を行い、糖尿病の発症予防、重症化予防に取り組んだ。COPDの普及啓発のために各区で講演会を実施の他、様々な機会を捉えてリーフレットを配付した。また地区特性を考慮した各種教室を開催し、知識の普及啓発、生活習慣改善のための支援を行った。(5,688千円)	12,000	14,999	健康に関する正しい知識の普及を図るため、講演会などの集団健康教育を行うほか、禁煙に関する個別健康教育を実施する。また、様々な機会を捉えて、COPD(慢性閉塞性肺疾患)の普及・啓発に努める。(6,190千円)	12,520	健康に関する正しい知識の普及を図るため、講演会などの集団健康教育を行うほか、禁煙に関する個別健康教育を実施する。また、様々な機会を捉えて、COPD(慢性閉塞性肺疾患)の普及・啓発に努める。(6,166千円)	講演会としての実施のほか、様々な機会を捉えた普及啓発に努めており、健康に関する正しい知識を提供する機会として、適切に実施されている。		

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
△ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

(5) 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画(27～29年度)				6期計画(27～29年度)		27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)		
								27年度		28年度		29年度				
								数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況		取組結果	数値目標
1	介護予防対象者の把握	保健活動及び民生委員などからの情報に対応し、閉じこもりなどの何らかの支援を要する人を把握し、介護予防活動に繋げます。	健康支援課	4章1-(5)P52	介護予防対象者把握	訪問延人数	人	600	543	他事業参加者や関係機関からの情報により保健師・管理栄養士・歯科衛生士等が訪問を実施した。(4,189千円)	600	201	保健活動及び関係機関からの情報により訪問を実施するとともに、効果的な把握方法について検討していく。(5,145千円)	600	保健活動及び関係機関からの情報により訪問を実施するとともに、効果的な把握方法について検討していく。(5,148千円)	保健活動及び関係機関からの情報により、訪問を実施するとともに、効果的な把握方法について検討していく。数値目標に対する達成率が低いことから、今後の対象者の把握方法や数値目標の見直し等検討する必要がある。
								達成率	90.5%		達成率	33.5%		達成率		
								進捗度	○		進捗度	◆		進捗度		
2	介護予防教育	介護予防について普及・啓発を行うとともに、地域住民が主体性をもって介護予防について理解を深めていけるよう、自治会程度の単位での普及・啓発を行います。	健康支援課	4章1-(5)P52	介護予防教育	参加者延人数	人	7,200	9,712	地域の自治会館等も会場とし介護予防に関する知識の普及啓発を実施した。医師講演会30回 歯科医師講演会18回 薬剤師講演会6回 歯っぴー健口教室120回 食事セミナー117回 その他介護予防教室255回 (29,625千円)	7,200	9,431	医師講演会30回 歯科医師講演会18回 薬剤師講演会6回 歯っぴー健口教室120回 食事セミナー162回 体操体験教室7回 その他介護予防教室600回 (35,044千円)	9,000	医師講演会30回 歯科医師講演会18回 薬剤師講演会6回 歯っぴー健口教室96回 食事セミナー108回 その他介護予防教室384回 (28,259千円)	参加しやすい会場で実施することで、より多くの方に介護予防に関する知識の普及啓発を実施することができている。
								達成率	134.9%		達成率	131.0%		達成率		
								進捗度	☆		進捗度	☆		進捗度		
3	介護予防相談	65歳以上の人を対象に健康・運動・栄養・口腔などの個別相談を行います。	健康支援課	4章1-(5)P52	介護予防相談	参加者延人数	人	2,400	2,033	個別相談583回実施 (10,782千円)	2,400	2,162	個別相談576回 (12,962千円)	1,800	個別相談504回 (11,641千円)	自ら介護予防に取り組むことができるよう、健康、栄養、口腔ケア等介護予防に関する個別の相談、指導が適切に実施されている。
								達成率	84.7%		達成率	90.1%		達成率		
								進捗度	△		進捗度	○		進捗度		
4	介護予防普及啓発	あんしんケアセンターなどにおいて、パンフレットなどの配布や講演会・相談会を開催し、介護予防に関する知識の普及・啓発を行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(5)P52	介護予防普及啓発事業	設定不可				あんしんケアセンターにて、認知症サポーター養成講座や講演会の開催等、介護予防に関する知識の普及・啓発を行った。参加人数31,294人。 (39,162千円)			あんしんケアセンターにて、パンフレットの配布や講演会・相談会を開催し、介護予防に関する知識の普及・啓発を行う。 (53,157千円)		新規・既存のあんしんケアセンターにおいて、講演会、教室、相談会、イベントを随時開催し、引き続き普及啓発に取組む。 (44,847千円)	計画通り実施している。普及啓発の件数実績として、28年度は39,082人と、27年度の31,294人と比べ7,788人増え、前年比24.9%の増加となっている。29年度においても、引き続き普及啓発に取組んでいる。
								達成率	#DIV/0!		達成率	#DIV/0!		達成率		
								進捗度			進捗度			進捗度		
5	元気アップ教室	基本チェックリストにより、要支援状態又は要介護状態になる恐れが高いと判定された方を対象に、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上及び認知症予防のプログラムを行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(5)P52	元気アップ教室事業	設定不可				スポーツクラブ等に委託し、1回3ヵ月のコースを各区年3コース実施した。自力で通うことが難しい方を対象に、送迎も実施した。延参加人数1,778人 (16,326千円)			スポーツクラブ等に委託し、1回3ヵ月のコースを各区年3コース実施する。自力で通うことが難しい方を対象に、送迎を実施する。 (24,549千円)		介護予防・日常生活支援総合事業への移行に伴い、「短期リハビリ型通所サービス」を開始する。 (1,400千円)	計画どおり実施してきたが、2次予防事業としての元気アップ教室事業は28年度で終了となる。平成29年度度より、内容を見直し、総合事業の短期集中型通所サービス事業として「短期リハビリ型通所サービス」を実施する。
								達成率	#DIV/0!		達成率	#DIV/0!		達成率		
								進捗度			進捗度			進捗度		
6	健康づくりプロジェクト	プロのサッカーチームや野球チームのトレーナーなどが講師となり、自宅ですることができるストレッチや筋力トレーニングなどを実施し、体力づくりのノウハウを提供するとともに、市民への介護予防、健康づくりに対する興味・関心が深まるよう努めます。	高齢福祉課	4章1-(5)P52	健康づくりプロジェクト事業	参加人数	人	330	207	参加者数は数値目標に届かなかったが、介護とは縁遠い元気な高齢者に対し、介護予防の観点からの体力作りのノウハウを提供することができた。 (決算額 877千円)	330	280	実施時間の変更などの工夫を図り、より多くの高齢者が介護予防・健康づくりに取り組めるように支援していく。 (決算額 877千円)	330	引き続き事業周知に努め、参加者数の更なる増加を図る。	参加者が定員に満たない会場があることから、会場の場所、実施時間、周知方法等を検討する必要がある。また、参加者から、介護予防体操の習得や他の参加者との交流のためには回数が少ないとの声があることから、実施回数を増やすことについて検討する必要がある。
								達成率	62.7%		達成率	84.8%		達成率		
								進捗度	△		進捗度	△		進捗度		
7	チャレンジシニア教室	一般高齢者を対象に、介護予防の視点を取り入れた実習・趣味活動・講座など、特に閉じこもりがちな男性高齢者の興味を引くような多彩なプログラムを行います。	高齢福祉課	4章1-(5)P52	チャレンジシニア教室	実施回数	回	140	140	総合型介護予防事業として円滑に実施できる事業者業務を委託し、1コース12回を各区年2コース実施した。 (決算額 12,859千円)	144	144	総合型介護予防事業として円滑に事業を実施できる事業者業務を委託し、1コース12回を各区年2コース実施する。 (決算額 8,662千円)	72	事業の費用対効果を検討するため、1コースを12回から6回に減らして実施する。	計画どおり実施している。事業の費用対効果を検証し、今後のあり方を検討する必要がある。
								達成率	100.0%		達成率	100.0%		達成率		
								進捗度	☆		進捗度	☆		進捗度		
8	シニア水中プログラム(平成27年度で終了)	水中での運動により慢性的な関節疾患の痛みの軽減を図ります。また、脳活性的エクササイズや、認知症発症リスクを抑える生活習慣を獲得するための講話を実施することで、認知症の予防を図ります。	地域包括ケア推進課	4章1-(5)P52	シニア水中プログラム	実施回数	回	120	120	スポーツクラブに委託し、1コース12回を各区年2回実施した。 (決算額 11,266千円)			制度見直しにより「シニアフィットネス習慣普及事業」に変更。			
								達成率	100.0%		達成率	#DIV/0!		達成率		
								進捗度	☆		進捗度			進捗度		
	平成28年度より変更 シニアフィットネス習慣普及事業	市内フィットネスクラブに高齢者向けの運動メニューを提供いただきその利用料の一部を市が助成することで、介護予防に資する運動習慣の普及啓発を図ります。	高齢福祉課		シニアフィットネス習慣普及事業	参加人数	人	-	-	-	1200	793	高齢者がフィットネスクラブに通う料金の一部を補助する。 (決算額 8,117千円)	1,200	補助事務の一部に不備があり、補助金の支払いが遅延したことから、事務手順及び申請様式等の見直しを行う。 (予算額 14,721千円)	平成28年度から実施。定員に満たないフィットネスクラブが多いため、利用が増えるよう、チラシの配付場所など周知方法を検討する必要がある。
								達成率	#VALUE!		達成率	66.1%		達成率		
								進捗度			進捗度	△		進捗度		

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
△ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画(27～29年度)									
								27年度			28年度			29年度		27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	
								数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況	取組結果	数値目標		取組状況
9	リハビリテーション活動支援	介護予防の機能強化(自立支援に資する取組)を図るため、住民主体の通いの場などにおいて、リハビリテーション専門職などによる指導・助言を行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(5)P52	地域リハビリテーション活動支援事業	実施回数	回	-	-	次年度開始に向けて、他市の情報収集やリハビリ職能団体との調整等の準備を行った。	50	4	住民主体の通いの場等の現状等を把握し、年度後半よりリハビリ職による支援を行っている。(2,000千円)	100	より効果的な介護予防の取組を実践するため、リハビリテーション専門職の幅広い関わりが重要であるため、関係団体と引き続き調整を進めていく。住民主体の通いの場への派遣等を積極的に行っていく。また、あんしんケアセンター等での個別のケースの処遇や地域ケア会議に対しても支援を行うことができるよう、検討を行う。		
10	シニアリーダー講座	地域の方々に対して介護予防の普及・啓発ができるよう、取組の重要性や介護予防につながる生活習慣についての知識の習得を図ります。 また、介護予防の運動を普及できるように、指導に必要な基礎知識を学ぶとともに、実技指導の体験などを通して自主グループをけん引できるリーダーを育成する講座を開設します。	地域包括ケア推進課	4章1-(5)P53	シニアリーダー講座事業	講座修了者数	人	240	219	事業所へ業務委託契約。週1回×3か月間(合計12回)を1コースとし、各区1会場×6区×年間2コース開催。講座修了者数219人(12,080千円)	240	198	事業所へ業務委託契約。週1回×3か月間(合計12回)を1コースとし、各区1会場×6区×年間2コース開催。講座修了者数198人。講座修了後、シニアリーダーによる自主的な地域でのボランティア活動を支援した。(15,797千円)	240	ほぼ計画どおり実施している。講座の受講者数が順調に増え、講座修了後のシニアリーダーの自主的活動が活発に行われ、各区連絡会の開催によりシニアリーダー同士が情報交換等を行い活動に反映する体制となっている。講座卒業後のシニアリーダーが運営する体操教室の実施について、市民への周知や会場確保に対する支援等が課題となっており、今後、支援策を検討していく必要がある。		
12	地域の介護予防活動の育成・支援	介護予防の体操などを行う住民主体の場を充実するために、介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援を行います。 また、あんしんケアセンターなどにおいて、ボランティア等人材を育成するための支援を行います。	健康支援課	4章1-(5)P53	地域活動支援	参加者延人数	人	3,600	4,596	既存の地区活動への支援とともに、地区資源の情報を整理しながら、介護予防に係る地域住民の活動支援を行った。住民主体で取組む介護予防活動への支援7会場(8,817千円)	3,600	5,382	既存の地区活動への支援とともに、地区資源の情報を整理しながら、介護予防に係る地域住民の活動支援を行った。住民主体で取組む介護予防活動への支援107会場(10,111千円)	4,800	住民主体で取組む介護予防活動への支援100会場(14,989千円)	介護予防活動に取り組む地区組織に対して、身近な場所での運動等の介護予防に関する技術提供等を行うことで、主体的な活動が継続できるような支援を行うことができている。地域の活動の場が充実するよう、引き続き支援を行っていく。	
			地域包括ケア推進課	4章1-(5)P53	地域介護予防活動支援事業	設定不可		達成率	#DIV/0!	あんしんケアセンターにて、ボランティア育成講座の講師、サロン立ち上げの支援等を行った。参加人数14,825人。(34,799千円)	達成率	#DIV/0!	あんしんケアセンター等が地域活動組織やボランティア等人材の育成及び支援を行う。(40,191千円)	達成率	#DIV/0!	地域介護予防活動支援事業(体操教室、ボランティア育成講座の講師、サークル、サロン活動支援・助言等)の実績としては、28年度は、21,102人と、27年度の14,825人と比べ6,277人増えており、対前年比42.3%の増加となっている。地域介護予防活動支援事業実績の対前年比における大幅な増加については、シニアリーダーや、生活支援コーディネーターとの協働機会が増えたことが一因となっていると考える。	
13	介護予防事業評価	基本チェックリストの該当数の変化や生活支援サービスの利用状況などから、介護予防事業参加による各個人の状況変化を把握し、事業の評価を行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(5)P53	介護予防事業評価事業	設定不可		達成率	#DIV/0!	一時予防事業及び二次予防事業参加者に対し、事業参加前と参加後に基本チェックリストを実施し、評価を行った。一次予防事業評価人数300人二次予防事業評価人数153人(5,292千円)	達成率	#DIV/0!	一時予防事業及び二次予防事業参加者に対し、事業参加前と参加後に基本チェックリストを実施し、評価を行う。一次予防事業評価人数300人二次予防事業評価人数200人(3,779千円)	達成率	#DIV/0!	介護予防ケアプラン作成者及び一般介護予防事業参加者、総合相談等においてあんしんケアセンターが必要と判断した高齢者に対し実施した基本チェックリストの結果を保健医療・衛生情報システムに取り込み、介護予防事業の評価及び総合事業の評価に活用できるようにする。(4,300千円)	保健医療・衛生情報システムを使用している評価は、実績と基本チェックリスト該当者数といったアウトプット指標や主観的健康感の変化(平成29年度より開始)を集約するアウトカム指標しかない。総合事業全体の評価を行うための分析方法や使用する指標等について、関係各課全体で検討する必要がある。
24	機能回復訓練	いきいきプラザ・いきいきセンターにおいて、加齢に伴い身体機能の低下が見られる、またはその心配がある高齢者に対し機能維持・体力増強など、介護予防を目的にストレッチ体操やレクリエーションなどを取り入れたグループ指導や個別指導を実施します。	高齢福祉課	4章1-(5)P54	老人福祉センター管理運営	参加人数	人	15,365	18,346	前年度と比較し、参加人数は増加し、概ね計画を達成した。	15,534	18,569	機能回復訓練の実施期間を2か月から3か月に延長し、内容の充実を図っている。	15,689	訓練終了後も家庭で継続できる体操を中心とした訓練プログラムを実施する。また、広報については、市政だよりやホームページだけではなく、案内チラシ等の配布を実施し、新規利用者の獲得に努める。	引き続き身体機能の低下防止を図るためのストレッチ体操やレクリエーションを実施する中で、実施状況やアンケートなどを検証し、必要な見直しについて検討していく。	
25	介護予防・生活支援ニーズ把握	地域ケア会議・介護予防教室などで、アンケートなどを実施し、身体状況別の高齢者の状況や生活支援サービスなどの必要量の把握などを行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(5)P54	介護予防・生活支援ニーズ把握	設定不可		達成率	#DIV/0!	地域ケア会議、介護予防教室などで、高齢者の状況等についてアンケートを一部実施した。(10,305千円)	達成率	#DIV/0!	基本チェックリストの紹介リーフレットを作成し、要介護認定非該当者をはじめ、地域の交流の場や介護予防教室等において配付するとともに、高齢者の生活状況や介護予防についての意見聴取を行う。(9,234千円)	達成率	#DIV/0!	基本チェックリストの紹介リーフレットを作成し、65歳到達者及び要介護認定非該当者に介護予防を周知する案内文を送付し、介護予防対象者を把握する。また、地域の交流の場や介護予防教室等の場において、あんしんケアセンターによる高齢者の面談等により対象者の把握を行う。(7,027千円)	平成27、28年度は、あんしんケアセンターの介護予防普及啓発等の活動の中で、チェックリストを活用し、ニーズ把握を実施している。平成26年度にて基本チェックリストの個別配送は廃止となっている。閉じこもりや社会との繋がりが軽薄している等、支援が必要な高齢者を効果的にかつ効率的に把握する方法を関係機関を含め、検討する必要がある。

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
△ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）						6期計画（27～29年度） 27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)			
								27年度			28年度				29年度		
								数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況		取組結果	数値目標	取組状況
26	生活支援コーディネーターの設置	地域に不足するサービスの創出、多様なサービスの担い手となる地域の人材の育成及び関係者間の情報共有などのコーディネート機能を担う「生活支援コーディネーター」を配置します。	地域包括ケア推進課	4章1-(5) P54	生活支援コーディネーター等整備	生活支援コーディネーター	人	6	6	生活支援等を業務とする団体を募集しプロポーザル方式により委託業者を選任。平成27年10月、6区に生活支援コーディネーターを配置し活動を開始した。(6,973千円)	12	12	平成28年4月に各区2名体制へと増員を図った。(28,475千円)	生活支援コーディネーターが地域の支えあい活動団体等の調査を行い、介護サービス情報公表システムで約600件の情報を開示した。他、いきいき活動マップの原案作成を行った。(28,199千円)	12	介護サービス情報公表システムで情報やいきいき活動マップの更新、生活支援サービスをまとめたガイドを発行する。(28,475千円)	計画どおり実施している。地域における生活支援コーディネーターの役割は極めて重要であり、今後は、次期計画で日常生活圏域毎に1人の生活支援コーディネーターを配置（第2層28人）できるよう検討を進めていく。
								達成率	100.0%		達成率	100.0%		達成率			
								進捗度	☆		進捗度	☆		進捗度			
27	生活支援サービス体制の整備	生活支援コーディネーターを配置するとともに、地域ケア会議の活用、協議体の設置など、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備を推進します。	地域包括ケア推進課	4章1-(5) P54	生活支援コーディネーター等整備	協議体設置数	箇所	1	1	千葉市の支えあいづくりを考える会を愛称とし、10月に発足し、3回の会議を開催した。(260千円)	1	1	平成29年度から各区に協議体を立ち上げるための、協議を進めていく。(16千円)	千葉市の支えあいづくりを考える会を2回開催した。(0千円)	7	各区に協議体を設置できるよう、平成29年度はその準備組織として「区生活支援サービス充実に関する研究会」の立ち上げを進めていく。(16千円)	協議体については、生活支援コーディネーターの活動に対する助言や指導等を効果的に行うための開催手法等を検討していく必要がある。また、平成30年度から各区に協議体を設置できるよう、平成29年度はその準備組織として「区生活支援サービス充実に関する研究会」の立ち上げを進めている。
								達成率	100.0%		達成率	100.0%		達成率			
								進捗度	☆		進捗度	☆		進捗度			
28	高齢者見守りネットワーク構築の推進	町内自治会などが見守り活動を新たに実施するための、ガイドブックを作成するとともに、初期経費の一部を補助します。活動後も団体間の交流を図り情報を共有する機会を創出するとともに、事例集を作成するなど、地域における見守り活動を支援します。	高齢福祉課	4章1-(5) P54	地域見守り活動支援事業	補助金交付団体数	団体	12	7	地域見守り活動を新たに実施する団体の設立を促すために活動拠点の整備に必要な初期経費を助成した。地域見守り活動・助け合い活動研修会を実施し、地域見守り活動を実施中の団体から54人が参加した。(1,049千円)	8	6	引き続き、活動拠点の整備に係る初期経費を助成し、地域見守り活動の促進を図っていく。地域見守り活動を始めようとする人向けのガイドブック・事例集の刊行を予定。(1,212千円)	地域見守り活動を新たに実施する団体の設立を促すために活動拠点の整備に必要な初期経費を助成した。(806千円)	8	引き続き、活動拠点の整備に係る初期経費を助成し、地域見守り活動の促進を図っていく。地域見守り活動を始めようとする人向けのガイドブック・事例集の配布を予定。(1,212千円)	見守り活動を実施する団体を対象とした補助（助成）を、庁内の複数の課（区役所を含む。）のほか千葉市社会福祉協議会が実施していること、また、活動開始時のみの補助となっており継続的な支援につながっていないことから、補助のあり方について整理・検討する必要がある。研修会の実施方法や内容を改良していく必要がある。
								達成率	58.3%		達成率	75.0%		達成率			
								進捗度	△		進捗度	△		進捗度			
29	高齢者生活支援サービス基盤づくり	要支援の高齢者などが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、掃除・買い物などの生活支援の充実を図るため、社会福祉協議会に補助します。	高齢福祉課	4章1-(5) P54	高齢者生活支援サービス基盤づくり	地区部会	地区	9	3	社会福祉協議会の地区部会が、日常生活課題等を地域全体で支えあえるような仕組みづくりを推進する場合には、その地区部会に対して助成した。(450千円)	9	4	社会福祉協議会の地区部会が、日常生活課題等を地域全体で支えあえるような仕組みづくりを推進する場合には、その地区部会に対して助成した。(1,350千円)	社会福祉協議会の地区部会が、日常生活課題等を地域全体で支えあえるような仕組みづくりを推進する場合には、その地区部会に対して助成した。(600千円)	6	社会福祉協議会の地区部会が、日常生活課題等を地域全体で支えあえるような仕組みづくりを推進する場合には、その地区部会に対して助成した。(900千円)	平成27年度から平成29年度までの3年間に限り補助金の助成予定。
								達成率	33.3%		達成率	44.4%		達成率			
								進捗度	◆		進捗度	◆		進捗度			
31	民間事業者等による見守り	民間事業者などの資源やネットワークを活用し、高齢者の見守りを行い、高齢者の孤独死・孤立死の防止に努めます。また、日常生活において何らかの異変が生じた場合、区へ連絡することで、区があんしんケアセンターなどと連携し必要に応じた高齢者の支援を行います。	高齢福祉課	4章1-(5) P55	民間事業者と連携した地域見守り活動	設定不可（民間事業者から任意の申出を受けて実施するため）		達成率	#DIV/0!	H26年度に民間企業と締結した協定・覚書により、高齢者の見守り体制の強化を行っている。(0千円)	達成率	#DIV/0!	引き続き、関係課と連携して見守り体制の強化を図っていく。(0千円)	H26年度に民間企業と締結した協定・覚書により、高齢者の見守り体制の強化を行っている。(0千円)	引き続き、関係課と連携して見守り体制の強化を図っていく。(0千円)	民間事業者と協力した見守り活動については地域福祉課も扱っており、庁内において棲み分けを整理したり、一本化することを検討する必要がある。	
								進捗度			進捗度			進捗度			
								達成率			達成率			達成率			
32	孤独死防止通報制度の運用	日常業務で地域を巡回しているライフライン事業者や宅配業者などの協力により、高齢者宅などの異変を発見した場合、区に通報してもらうことで、地域における孤独死の防止に努めます。	地域福祉課	4章1-(5) P55	孤独死防止通報制度	協力事業者	事業者	19	32	平成27年度末現在、32事業者と協定を締結している。また協力事業者を集め、本制度に関する連絡会議を開催した（年度1回開催）。(0千円)	33	32	事業者との新規協定締結を継続する。また協力事業者を集め、本制度に関する連絡会議を開催する（年度1回開催）。(0千円)	平成28年度末現在、32事業者と協定を締結している。また協力事業者を集め、本制度に関する連絡会議を開催した（年度1回開催）。(0千円)	34	協力事業者の拡大を図る。また協力事業者等による本制度に関する連絡会議を開催する（年度1回開催）。(0千円)	引き続き、制度を実施するとともに、協力事業者の拡大を図る。
								達成率	168.4%		達成率	97.0%		達成率			
								進捗度	☆		進捗度	○		進捗度			

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
△ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

(8) 安全・安心なまちづくりの推進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画(27～29年度)						27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)		
								27年度			28年度				29年度	
								数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況		取組結果	数値目標
3	避難行動要支援者の支援体制の強化	災害時における安否確認や迅速な避難支援などに活用する名簿を作成し、町内自治会などと協力して避難行動要支援者を支援する体制を構築します。	危機管理課 防災対策課	4章1-(8) P62	避難行動要支援者名簿情報提供	避難行動要支援者名簿提供 団体数	100	64	・避難行動要支援者名簿の未提供団体へ書面等により啓発を行った。(0千円) ・避難行動要支援者名簿提供団体数は、平成28年3月31日時点176団体	100	66	引き続き避難行動要支援者名簿未提供団体へ啓発を行い、提供団体の増加を目指す。(0千円)	100	引き続き避難行動要支援者名簿未提供団体へ啓発を行い、提供団体の増加を目指す。(0千円)	名簿未提供団体への周知等により提供団体数は毎年増加しているが、まだ十分に浸透していないと考えられる。今後更に提供団体数を増やすためには、制度の周知強化を図るとともに、町内自治会等の組織力の強化や、個人情報保護の負担感を解消することも必要であると考えられる。	
							達成率	64.0%		達成率	66.0%		達成率			
							進捗度	△		進捗度			進捗度			
4	避難行動要支援者情報の消防局での活用	避難行動要支援者名簿システムで把握した要支援者情報をちば消防共同指令センターの指令管制システムに活用することで、火災や風水害などの発生時に災害地点から一定範囲内での要援護者の安全確保に努めます。	消防局 指令課	4章1-(8) P62	消防指令体制の充実	設定不可	達成率	#DIV/0!	年4回の名簿作成および、更新に合わせ新規対象者への同意確認を実施した。(1,683千円)	達成率	#DIV/0!	年4回の名簿作成および、更新に合わせ新規対象者への同意確認を実施する。(2,170千円)	達成率	#DIV/0!	年4回の名簿作成および、更新に合わせ新規対象者への同意確認を実施した。(1,615千円)	今後増加する支援を要する高齢者への対応を踏まえ、名簿への掲載の同意確認及び災害時の対応についての体制整備を図る必要がある。
							進捗度			進捗度			進捗度			
							達成率	#DIV/0!	避難行動要支援者名簿情報を定期的に指令管制システムに取り込み、災害活動時の支援情報として有効活用できた。(0千円)	達成率	#DIV/0!	避難行動要支援者名簿情報を定期的に指令管制システムに取り込み、災害活動時の支援情報として有効活用している。(0千円)	達成率	#DIV/0!	取組状況に挙げたシステム取り込みを定期的に実施し、支援情報として有効活用できた。(0千円)	
8	消費者被害の防止	悪質商法などから高齢者を守るため、高齢者や高齢者に接する機会の多い方々の要望に合ったくらしの巡回講座を実施し、悪質商法の手口や対処方法などの理解の促進を図ります。	消費生活センター	4章1-(8) P63	くらしの巡回講座	設定不可	達成率	#DIV/0!	町内自治会、いきいきプラザ及びいきいきセンター等において104回実施(5,488人が受講)(0千円)	達成率	#DIV/0!	申町内自治会、いきいきプラザ及びいきいきセンター等の申込みに基づき実施予定(0千円)	達成率	#DIV/0!	申町内自治会、いきいきプラザ及びいきいきセンター等の申込みに基づき実施予定(0千円)	巡回講座を各年度100回程度実施しており、順調に推移している。
							進捗度	○		進捗度	○		進捗度	○		
							達成率	#DIV/0!	高齢者等悪質商法被害防止ネットワーク会議を開催(1回)	達成率	#DIV/0!	高齢者等悪質商法被害防止ネットワーク会議を開催予定(1回)	達成率	#DIV/0!	高齢者等悪質商法被害防止ネットワーク会議を開催(1回)	
10	千葉県高齢者等悪質商法被害防止ネットワーク会議	関係機関及び団体と連携し、悪質商法による高齢者などの消費者被害の防止を図ります。	消費生活センター	4章1-(8) P63	千葉県高齢者等悪質商法被害防止ネットワーク会議	設定不可	達成率	#DIV/0!	消費者被害注意報をネットワーク会議の構成員や民生委員等に配信(年6回)	達成率	#DIV/0!	消費者被害注意報をネットワーク会議の構成員や民生委員等に配信(年6回)	達成率	#DIV/0!	消費者被害注意報をネットワーク会議の構成員や民生委員等に配信(年6回)	今後も関係機関と連携した取り組みを行い、高齢者や障害者の消費者被害防止に努めていく。
							進捗度	○	ネットワーク会議の構成員が関係するイベントにおいて消費生活センターの機能周知を図った。(0千円)	進捗度	○	ネットワーク会議の構成員が関係するイベントにおいて消費生活センターの機能周知を図る。	進捗度	○	ネットワーク会議の構成員が関係するイベントにおいて啓発品を配布する等、消費生活センターの機能周知を図る。	
							達成率	#DIV/0!	高齢者等悪質商法被害防止ネットワーク会議を開催(1回)	達成率	#DIV/0!	高齢者等悪質商法被害防止ネットワーク会議を開催(1回)	達成率	#DIV/0!	高齢者等悪質商法被害防止ネットワーク会議を開催(1回)	

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
△ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

2 生きがいくりと社会参加の促進

(1) 社会参加活動の充実

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画(27～29年度)						27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)			
								27年度			28年度				29年度		
								数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況		取組結果	数値目標	取組状況
1	いきいきプラザ・いきいきセンターの運営	高齢者が健康で生きがいのある生活が送れるように、健康などの相談に応じたり、健康増進やレクリエーション活動を行うことができる施設で、機能回復訓練、高齢者福祉講座、世代間交流などを行います。	高齢福祉課	4章2-(1) P66	老人福祉センター管理運営	延べ利用者数	人	624,785	638,391	前年度と比較し、プラザ・センターとともに利用者数が増加した。 (506,979千円)	631,658	645,961	利用者の少ない土日にイベントや講座を開催するなど、利用促進を図る。 (539,332千円)	土日にイベントや講座を開催したことにより利用者が増加した。	637,975	これまで行ってきたホームページや市政だよりによる情報発信を継続していくに加え、地域紙への掲載、自治会を通じての案内チラシの回覧等により利用促進を図る。 (522,426千円)	講座や講演会の充実が図られ、利用者数の増加に繋がった。引き続き、工夫を行い利用者数の増大を図る。
								達成率	102.2%		達成率	102.3%					
								進捗度	☆		進捗度	☆					
2	いきいき活動外出支援	高齢者団体が実施する研修、視察、ボランティア活動などの外出に対し、借上バスの費用の一部を補助することで高齢者の社会参加を促進します。	高齢福祉課	4章2-(1) P66	いきいき活動外出支援事業	利用者数	人	8,783	7,456	昨年度と比較して利用団体数、利用人数ともに増加し、高齢者の社会参加を促進した。 利用団体数 231団体 (8,419千円)	9,742	7,985	補助上限を1団体あたり2回までとし、引き続き高齢者の社会参画促進を行う。 利用団体数 269団体 (9,090千円)	昨年度と比較して利用団体数、利用人数ともに増加し、高齢者の社会参加を促進した。 利用団体数 252団体	10,807	事業の周知に努めるなど、引き続き高齢者の社会参加の促進を図る。 利用団体数 287団体 (予算額 10,318千円)	市政だよりへの掲載や、団体間の周知により利用団体数が増加している。 引き続き市政だより・HPでの周知や窓口での丁寧な説明を行い、補助金を利用しやすい環境づくりに努め、利用促進を図る。
								達成率	84.9%		達成率	82.0%					
								進捗度	△		進捗度	△					
3	ことぶき大学の運営	高齢者が知識や技術を習得し、仲間づくりや社会活動への参加を通じて豊かで充実した生活が送れるよう学習と活動の場を提供します。 また、地域の現状と課題に対する実践的学習や活動体験を通し、卒業後の地域活動への参加を目指します。	高齢福祉課	4章2-(1) P66	ことぶき大学運営事業	学生数	人	210	185	学生から高い評価を得ているとともに、地域活動・ボランティアに対する参加意欲が高まったとするアンケート結果が出るなど効果が現れている。 その反面、美術、陶芸学科は定員割れとなっている。 (決算額 28,972千円)	210	185	ハーモニープラザのあり方について、検討しているが、H29年度までは現状維持で事業を続けていく。 (決算額 31,953千円)	ボランティア活動関連企画の回数を増やしたところ、昨年度比で参加者数が71名、ボランティア相談件数が17件増加し、学生の意識付けに寄与した。	210	定員割れ解消のため、平成29年度入学より卒業生の再入学を認め、対象者を拡大した。引き続き事業の在り方について見直しを進める。 (予算額 32,519千円)	授業内容についてはアンケート結果において在学生・卒業生から高い評価を得ているものの、定員に空きがあることから、大学校についての周知方法、講義を実施する場所、カリキュラム等を検討していく必要がある。
								達成率	88.1%		達成率	88.1%					
								進捗度	△		進捗度	△					
4	スポーツ・レクリエーションの振興	高齢者がスポーツ・レクリエーション活動への参加を通じて、仲間づくりや健康づくりに取り組めるよう、高齢者スポーツ広場の整備などにより活動の場の確保を図ります。 また、安全でより良いスポーツ環境を提供するため、スポーツ施設の管理運営及び維持補修などを行います。	高齢福祉課	4章2-(1) P66	高齢者スポーツ広場事業	利用人数	人	19,554	21,564	平成26年度に新規開設した広場の利用者が大幅に増加し、全体の利用者増に繋がった。 (2,664千円)	19,769	21,776	利用状況等を検証し、必要な見直しを検討していく。 (789千円)	安定的に利用が継続されており、利用者数が微増した。	19,958	利用状況等を検証し、必要な見直しを検討していく。 (787千円)	高齢者のスポーツ・レクリエーション活動の場として引き続き高齢者スポーツ広場を確保する。また、利用状況を検証し、必要な見直しを検討していく。
								達成率	110.3%		達成率	110.2%					
								進捗度	☆		進捗度	☆					
4	スポーツ・レクリエーションの振興	高齢者がスポーツ・レクリエーション活動への参加を通じて、仲間づくりや健康づくりに取り組めるよう、高齢者スポーツ広場の整備などにより活動の場の確保を図ります。 また、安全でより良いスポーツ環境を提供するため、スポーツ施設の管理運営及び維持補修などを行います。	スポーツ振興課	4章2-(1) P66	スポーツ施設管理事業 スポーツ広場・運動広場事業	設定不可		達成率	#DIV/0!	・スポーツ施設の管理運営 1 2施設 604,546千円 ・スポーツ広場の管理運営 2施設 4,767千円 ・運動広場の管理運営 1 9施設 4,799千円	達成率	#DIV/0!	・スポーツ施設の管理運営 1 2施設 587,687千円 ・スポーツ広場の管理運営 2施設 4,817千円 ・運動広場の管理運営 1 9施設 6,231千円	・スポーツ施設の管理運営 1 2施設 581,969千円 ・スポーツ広場の管理運営 2施設 4,775千円 ・運動広場の管理運営 1 9施設 5,340千円	・スポーツ施設の管理運営 1 2施設 632,651千円 ・スポーツ広場の管理運営 2施設 4,816千円 ・運動広場の管理運営 1 8施設 6,017千円	①良好な管理運営を行った。 ②市民に安全でより良いスポーツ環境を提供するため、スポーツ施設、スポーツ広場、運動広場の管理運営及び維持補修等を行った。	
								進捗度			進捗度						
								達成率			達成率						
5	千葉県市民活動支援センター	ボランティア活動やNPO活動に関する情報提供や活動場所の提供、活動に関する相談などを行います。	市民自治推進課	4章2-(1) P67	千葉県市民活動支援センター	登録団体数	団体	650	710	指定管理者のノウハウを活かしたサービスの提供、効率的な施設運営、効果的なPR等により、施設利用者数及び利用団体数が増加した。 (17,019千円)	660	724	引続き指定管理者によるノウハウを活かしたサービスの提供や効果的なPR等により利用者数は増加傾向にある。また、今年度は指定管理者の選定を行うため、公募に向けた準備を進めている。 (17,019千円)	引続き指定管理者によるノウハウを活かしたサービスの提供や効果的なPR等により登録団体数は増加した。また、指定管理者の選定を行った。 (17,019千円)	720	新指定管理者によるノウハウを活かしたサービスの提供や効果的なPR等により、登録団体数の増加を図る。 (19,218千円)	登録団体数が増加しており、より良いサービスの提供・効果的なPRができていると考えられる。
								達成率	109.2%		達成率	109.7%					
								進捗度	☆		進捗度	☆					
6	ボランティアデータベースの運用	ボランティア活動の活性化を図るため、市、千葉県国際交流協会、千葉県ボランティアセンター及びちば生涯学習ボランティアセンターが保有するボランティア関連情報を集約し、情報提供します。	市民自治推進課	4章2-(1) P67	千葉県ボランティア情報「ちばばら」	アクセス数	件	19,000	33,012	市政だより等での広報により、周知が進んだ結果、アクセス数が増加した。 (195千円)	19,500	38,379	引続き4施設と協力し、適切な管理・運営を行っている。さらなる機能改善へ向けての検討を行っている。 (197千円)	市政だより等での広報により、周知が進んだ結果、アクセス数が増加した。 (197千円)	20,000	引続き4施設と連携・協力し、適切な管理・運営を行っている。 (197千円)	年々アクセス数が増えており、順調にちばばらの周知が進んでいると考えられる。
								達成率	173.7%		達成率	196.8%					
								進捗度	☆		進捗度	☆					

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
△ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画(27～29年度)						6期計画(27～29年度)に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)				
						27年度			28年度			29年度						
						数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況	取組結果	数値目標		取組状況			
7	ボランティア活動の促進	市民のボランティア活動への積極的な参加を促すため、ボランティアセンターで情報提供や講座の開催を行い、ボランティアの育成を図ります。 また、ボランティア活動の活動施設や書籍などの貸出しを行い、ボランティア活動を行う人を支援します。	地域福祉課	4章2-(1) P67	千葉県社会福祉協議会補助金(地域ぐるみ福祉ネットワーク事業)	ボランティア登録者数	人	9,950	9,338	市民が興味を抱くボランティア講座を開催し、多種多様なボランティアを育成した。 ボランティアをする側・受ける側双方のニーズを把握し、情報の収集、発信に努めた。 活動施設の稼働率向上のため、利用団体等にアンケート調査を実施して、改善点を把握し、稼働率向上に努めた。	10,507	9,521	市民が興味を抱くボランティア講座を開催し、多種多様なボランティアを育成して行く。 ボランティアをする側・受ける側双方のニーズを把握し、情報の収集、発信に努めた。 活動施設の稼働率向上のため、利用団体等にアンケート調査を実施して、改善点を把握し、稼働率向上に努めた。	市民が興味を抱くボランティア講座を開催し、多種多様なボランティアを育成して行く。 ボランティアをする側・受ける側双方のニーズを把握し、情報の収集、発信に努めた。 活動施設の稼働率向上のため、利用団体等にアンケート調査を実施して、改善点を把握し、稼働率向上に努めた。	10,612	担い手が不足する分野のボランティア講座を重点的に開催するとともに、市民が興味を抱く新しい分野・内容の講座を開催し、多種多様なボランティアを育成して行く。 ボランティアをする側・受ける側双方のニーズを把握し、情報の収集、発信に努める。 ボランティアセンターの施設を有効に活用してもらうため、利用団体等にアンケート調査を実施して、必要な改善を行い、ボランティア活動の支援を行う。	引き続き、千葉県社会福祉協議会に対し、補助金を交付するとともに、ボランティアの育成、コーディネート等に必要な支援を実施する。	
								達成率	93.8%		達成率	90.6%			達成率			90.6%
								進捗度	○		進捗度	○			進捗度			○
8	高齢者学級・講座の充実	いきいきプラザ・いきいきセンターでは、絵画、陶芸、音楽、体操などの幅広い内容の講座を開催し、福祉講座の充実を図ります。 公民館や生涯学習センターでは、学習需要や社会の変化に対応して、高齢者を対象に仲間づくりや社会参加活動の促進につながる各種事業を実施します。	高齢福祉課	4章2-(1) P67	老人福祉センター管理運営	参加人数	人	46,517	46,645	前年度と比較し、参加人数は増加し、概ね計画を達成した。	47,029	46,223	高齢者のニーズに合った、講座内容の検討や、抽選方法の変更を行うなど利用者増に努めている。	受講機会を増やすために、年間を通じた講座に加え前期後期ごとの半年単位の講座を開講した。受講者は、微減となったが、概ね計画を達成した。	47,499	これまで実施してきた健康増進や趣味の仲間づくりのための講座に加え、新たに学習意欲や知的好奇心を引き出すようなテーマ設定の講座を企画し、新規利用者促進につなげる。	参加人数は計画を達成しており、引き続き参加者からのアンケートや人数などを検証し、必要な見直しについて検討する。	
								達成率	100.3%		達成率	98.3%			達成率			98.3%
								進捗度	☆		進捗度	○			進捗度			○
			生涯学習振興課	4章2-(1) P67	高齢者教育事業(公民館)生涯学習センター管理運営	設定不可(実績は参加人数)	人	2,118	2,444	【公民館】開催数 64講座 決算額 406千円 高齢者の仲間づくりや社会参加活動の推進等、生きがいづくりに繋がる事業を実施した。 生涯学習センターの高齢者向け講座 講座の実施数:3講座 講座の延受講者数:351人 (554,840千円:指定管理料総額)	2,444	2,444	【公民館】開催予定 63講座 予算額 約176千円 高齢者の仲間づくりや社会参加活動の推進等、生きがいづくりに繋がる事業を実施した。 【生涯学習センター】講座の実施数:3講座 講座の延受講者数:324人 (551,332千円:指定管理料総額)	2,444	【公民館】開催予定 64講座 予算額 153千円 高齢者の仲間づくりや社会参加活動の推進等、生きがいづくりに繋がる事業を実施する。 【生涯学習センター】講座の実施数:3講座 講座の延受講者数:324人 (551,332千円:指定管理料総額)	2,444	【公民館】開催予定 68講座 予算額 約222千円 高齢者の仲間づくりや社会参加活動の推進等、生きがいづくりに繋がる事業を実施する。 【生涯学習センター】開催数 3講座 (557,181千円:指定管理料総額)	平成28年度については、生涯学習センター・公民館とも、事業計画どおりに実施している。
								達成率	#DIV/0!	達成率	#DIV/0!	達成率	#DIV/0!					
								進捗度	☆	進捗度	☆	進捗度	☆					
高齢福祉課	4章2-(1) P67	老人福祉センター管理運営	参加人数	人	5,671	5,722	前年度と比較し、参加人数は大幅に増加し、概ね計画を達成した。	5,733	4,344	高齢者の生きがいづくりと介護予防の一環として、高齢者と地域の小・中学生など異世代との共同学習などを通じ世代間交流事業を実施した。実施事業の変更により、昨年度より参加者数は減少した。	5,790	市政だよりなどを通じて参加者を広く募るほか、近隣の保育所などと交流する機会をもうけることにより、高齢者が異世代との交流をより身近なものに感じられるよう支援する。	概ね計画を達成している。実施状況や参加者からのアンケートなどを検証し、必要な見直しについて検討する。					
					達成率	100.9%		達成率	75.8%		達成率			75.8%				
					進捗度	☆		進捗度	△		進捗度			△				
9	世代間交流の促進	いきいきプラザ・いきいきセンターでは、高齢者の生きがいづくりと介護予防の一環として、近隣の小学校や保育園などと連携して陶芸教室や書初め教室などを開催するなど、高齢者と子どもたちとの世代間の交流を図ります。 保育所において、在所児の祖父母、地域の高齢者を招いて伝承行事などを楽しんだり、子どもたちが高齢者福祉施設などを訪問するなど、世代間の交流を図ります。 小学生を対象として、放課後や週末などに小学校の施設などを利用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動などを提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健康やかに育まれる環境づくりを進めます。	幼保運営課(保育運営課)	4章2-(1) P67	保育所(園)地域活動事業	施設数	カ所	173	173	事業として実施施設には翌月15日までに報告書の提出を求めた。(決算2152千円)	192	192	引き続き、施設の出来る範囲で世代間交流を実施していく。(決算1110千円)	事業として実施施設には翌月15日までに報告書の提出を求めた	233	引き続き、施設の出来る範囲で世代間交流を実施していく。	認可保育施設の増加に伴い、世代間交流の実施施設の増加はしている。園庭のない施設も増えているため、施設の出来る範囲で世代間交流を実施していく。核家族化が進み、高齢者と交流する機会が減っている事や地域の高齢者へ保育所(園)の理解の為に世代間交流の実施を薦めていく。	
								達成率	100.0%		達成率	100.0%			達成率			100.0%
								進捗度	☆		進捗度	☆			進捗度			☆
生涯学習振興課	4章2-(1) P67	・世代間交流事業(公民館) ・放課後子ども教室推進事業	参加人数	人	5,671	5,666	【公民館】開催数 6講座(184千円) 【放課後子ども教室】地域の方々の参画を得て、学習指導や多世代間の交流など市内全小学校112校で実施した。 延協力員数 21,286人(11,443千円)	5,733	874	【公民館】開催数 6講座(89千円) 【放課後子ども教室】地域の方々の参画を得て、学習指導や多世代間の交流など市内全小学校112校で実施する(25,884千円)	5,790	【公民館】開催数 5講座(92千円) 【放課後子ども教室】地域の方々の参画を得て、学習指導や多世代間の交流など市内全小学校112校で実施した。 延協力員数 21,260人(24,225千円)	5,790	【公民館】開催数 5講座(95千円) 【放課後子ども教室】市内全小学校111校で実施する(54,331千円)	地域人材の高齢化や保護者への負担が大きいなどの理由で、実施日数は減少傾向にある。 平成28年度からモデル校10校を対象に総合コーディネーターによる活動支援を行い、参加児童数は増加したが、全校での実施日数は減少している。 平成29年度から開始する子どもルームとの一休型事業の検証を行い、全ての子どもに安全・安心に過ごせる居場所と「学びのきっかけ」の提供を図る。			
					達成率	99.9%	達成率	15.2%	達成率	15.2%								
					進捗度	○	進捗度	○	進捗度	○								
11	老人クラブ育成	地域に住む高齢者が集まり、レクリエーションや社会奉仕活動を通じながら健康増進や生きがいづくりを目指す自主的な組織を育成します。	高齢福祉課	4章2-(1) P68	老人クラブ育成指導事業	単位老人クラブの会員数	人	15,090	14,793	老人クラブの生きがいづくりや健康づくりに係る各種活動、社会奉仕活動を促進した。 老人クラブ活動のリーダーを育成するための指導者研修会を平成28年2月に実施した。(16,434千円)	15,500	13,832	引き続き、老人クラブの各種活動、社会奉仕活動を促進するとともに、リーダー育成のための指導者研修会を実施する。(16,996千円)	老人クラブの生きがいづくりや健康づくりに係る各種活動、社会奉仕活動を促進した。また、指導者研修会での離席者が前年度よりも少なかった。(15,901千円)	16,200	要綱の記載不備等により、交付申請書の見直しを行う。また、引き続き指導者研修会を行い、リーダー育成に努める。(16,335千円)	高齢者の数が増加している中で、老人クラブの会員数が減少していること、また、介護保険制度の改正等を背景に地域における高齢者への支援の見直しが必要とされていることから、老人クラブへの補助・支援のあり方を検討していく必要がある。	
								達成率	98.0%		達成率	89.2%			達成率			89.2%
								進捗度	○		進捗度	△			進捗度			△

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について
 ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
 ○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
 △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
 ◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

(2) 高齢者の就労支援

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位	6期計画(27～29年度)						6期計画(27～29年度) 27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)			
							27年度			28年度				29年度		
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況		取組結果	数値目標	取組状況
1	コミュニティビジネスの普及推進	コミュニティビジネスの普及・推進を図るため、市民向けのシンポジウムを開催します。また、コミュニティビジネスによる創業を目指す者に対して、市コミュニティビジネス推進協議会のネットワークを活用した相談を受け付けます。	産業支援課	4章2-(2) P68	コミュニティビジネスの普及推進	設定不可			市民向けシンポジウムを開催した。(212千円) コミュニティビジネスによる創業を目指す者に対して、市コミュニティビジネス推進協議会のネットワークを活用した相談を受け付けた。(0千円)			コミュニティビジネスの普及・推進を図るため、市民向けのシンポジウムを開催します。また、コミュニティビジネスによる創業を目指す者に対して、市コミュニティビジネス推進協議会のネットワークを活用した相談を受け付けます。	市民向けシンポジウムを開催(190千円)し、終了後には講師と参加者の交流会を実施した。また、コミュニティビジネスを起業しようとする者への相談窓口を設けた。	下半期で市民向けシンポジウムを開催(275千円)予定。また、今年度もコミュニティビジネスを起業しようとする者への相談窓口を設け、対応を図る。	概ね、予定通りに市民向けシンポジウムを年間1回開催することができた。また、コミュニティビジネスを起業しようとする者への支援の場を設けることはできたものの、相談件数はほとんどなかったため、周知方法や支援の方法についても検討する必要があると思われる。	
2	シルバー人材センターの充実	高齢者が豊かな経験と能力を発揮し、働くことにより、生きがいが高まる機会を確保できるよう、シルバー人材センターの運営を支援します。また、市内の企業に対して、シルバー人材センターの事業内容などのPRを積極的に行い、事業規模の拡大、契約件数・契約金額の増加を図るとともに、会員数の増加を目指すなど、組織の強化に努めます。さらに、ワンコインサービスにより買い物支援など暮らしのお手伝いを行うなど、地域貢献活動に積極的に取り組みます。	高齢福祉課	4章2-(2) P68	シルバー人材センター運営補助事業	会員数 人	3,000	2,813	リーフレット・チラシのポスティングや配布、広報誌等を活用したPR活動を推進し、受注の確保を図った。各種講習会や研修会を実施したほか、モラル・マナーについての接遇研修を実施した。(116,54千円)	2,970	2,650	引き続き、就業機会の拡大、会員の資質向上を図っていく。(96,640千円)	リーフレットのポスティング運動により就業機会の拡大を図った。また、福祉・家事援助サービスの拡充を図るため、女性会員の確保を目的とした会員募集チラシを作成し、公民館等に配架した。(96,362千円)	3,120	引き続き、就業機会の拡大、会員の資質向上を図っていく。(99,261千円)	平成27年度はイベントにおける広報活動や公共施設へのチラシの配布等、市民への周知と入会促進に努めたため、会員が若干名増加したが、平成28年度は減少している。会員登録者数の増加に向けて、引き続き、市政だよりの活用やイベントでのチラシ配布などの取組を行っていくほか、新たな取り組みについても検討する必要がある。

3 尊厳ある暮らしの支援

(1) 高齢者虐待への対応

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位	6期計画(27～29年度)						6期計画(27～29年度) 27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)			
							27年度			28年度				29年度		
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況		取組結果	数値目標	取組状況
2	高齢者虐待防止マニュアルの充実	高齢者虐待の実態を調査し、必要に応じて高齢者虐待防止マニュアルを改訂するとともに、関係機関などに配布し、高齢者虐待防止に対する周知を図ります。また、施設などについては、虐待防止に関する指導・監督を強化します。	地域包括ケア推進課	4章3-(1) P70	高齢者虐待防止マニュアルの充実	設定不可			施設等職員による高齢者への虐待について、相談があった場合、必要に応じて調査を実施し、指導・監督を行った。			高齢者虐待の実態を調査し、必要に応じて高齢者虐待防止マニュアルを改訂する。また、施設等職員による高齢者への虐待について、相談があった場合、必要に応じて調査を実施し、指導・監督を行った。(0千円)	施設等職員による高齢者への虐待について調査し、必要に応じて高齢者虐待防止マニュアルを改訂する。また、施設等職員による高齢者への虐待について、相談があった場合、必要に応じて調査を実施し、指導・監督を行う。(76千円)	施設等職員による高齢者への虐待について、相談や通報があった際は、関係課と連携し、必要に応じて調査を実施し、指導を行っている。今後も、高齢者虐待の実態の把握を行い、虐待防止に努める。		
			介護保険事業課	4章3-(1) P70	高齢者福祉施設への指導・監督	設定不可			施設職員による高齢者への虐待について、相談があった場合、必要に応じて調査を実施し、指導・監督を行った。			施設職員による高齢者への虐待について、相談があった場合、必要に応じて調査を実施し、指導・監督を行う。	施設職員による高齢者への虐待について、相談があった場合、必要に応じて調査を実施し、指導・監督を行う。	高齢者虐待の実態の把握を行い、今後も虐待防止に努める。		
			介護保険事業課	4章3-(1) P70	実地指導	実地指導数 事業所	160	168	実地指導を通じて、高齢者虐待防止に係る研修の実施状況を確認した。実施期間：H27.4～H28.3	163	138	引き続き実地指導を通じて、高齢者虐待防止に係る研修の実施状況を確認していく。	実地指導を通じて、高齢者虐待防止に係る研修の実施状況を確認した。実施期間：H28.4～H29.3	165	引き続き実地指導を通じて、高齢者虐待防止に係る研修の実施状況を確認していく。	事業所数の増加に対応するため、実地指導の人員体制を強化するとともに実施件数を増やしていく。
			保健福祉総務課	4章3-(1) P70	実地指導	実地指導数 事業所	105	104	介護保険施設等の実地指導時に高齢者虐待防止研修の状況を確認した。(0千円)	121	117	介護保険施設等の実地指導時に高齢者虐待防止研修の状況を確認する。(0千円)	介護保険施設等の実地指導時に、高齢者虐待防止研修の実施状況を確認した。(0千円)	105	介護保険施設等の実地指導時に高齢者虐待防止研修の状況を確認する。(0千円)	引き続き、介護保険施設等の実地指導時に実施する。
4	高齢者虐待予防・防止の普及啓発	高齢者虐待について、市民の知識や理解を深めるため、高齢者虐待防止パンフレットを作成・配布するなど、普及・啓発活動を行います。	地域包括ケア推進課	4章3-(1) P70	高齢者虐待予防・防止の普及啓発	設定不可			高齢者虐待防止パンフレットを作成・配布するなど、普及・啓発活動を行った。(250千円)			高齢者虐待防止パンフレットを作成・配布するなど、普及・啓発活動を行う。(1,807千円)	高齢者虐待防止に向けたパンフレットを作成し、保健福祉センター、あんしんケアセンター、町内自治会に計27,290部配布した。(648千円)	高齢者虐待防止パンフレットを作成・配布するなど、普及・啓発活動を行う。(156千円)	高齢者虐待について、市民の知識や理解を深めるため、高齢者虐待防止に向けたパンフレットを作成し、保健福祉センターやあんしんケアセンターに設置するとともに、町内自治会に配布し、市民の知識や理解を深めることができた。	
5	高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修	高齢者権利擁護・身体拘束廃止にかかる新任職員研修及び専門実践研修を実施することにより、身体拘束を行わない質の高い介護の提供を目指します。	地域包括ケア推進課	4章3-(1) P70	高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修	研修参加人数 人	新任 80 専門 105	新任 85 専門 46	高齢者福祉施設等の職員が身体拘束を行わない質の高い介護を提供できるよう、新任職員研修及び専門実践研修を実施。	新任 120 専門 35	新任 84 専門 41	高齢者福祉施設等の職員が身体拘束を行わない質の高い介護を提供できるよう、新任職員研修及び専門実践研修を実施予定。	高齢者福祉施設等の職員が高齢者の権利擁護に対する理解を深め、身体拘束を行わない質の高い介護を提供できるよう、新任職員研修及び専門実践研修を実施。(629千円)	新任 120 専門 35	高齢者福祉施設等の職員が高齢者の権利擁護に対する理解を深め、身体拘束を行わない質の高い介護を提供できるよう、新任職員研修及び専門実践研修を実施予定。(629千円)	高齢者福祉施設等の職員が高齢者の権利擁護に対する理解を深め、虐待防止や身体拘束廃止に向けての意識向上につながった。受講者数は新任・専門研修と合わせて、毎年120名程度であり、募集定員に対して空きがあるため、開催日等の再検討が課題となっている。

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
△ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

(2) 成年後見制度への対応

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画(27～29年度)								27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	
								27年度			28年度			29年度			
								数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況	取組結果	数値目標		取組状況
1	成年後見制度利用支援	判断能力が不十分な高齢者などを保護するため、成年後見制度の利用を支援します。なお、成年後見人への報酬助成範囲を、一部拡充します。	地域包括ケア推進課	4章3-(2) P71	成年後見利用支援事業	申立件数及び報酬助成件数	件	申立 28 報酬助成 23	申立 18 報酬助成 21	判断能力が不十分な高齢者などを保護するため、成年後見制度利用支援を行った。また、市長申立を後見人および親族申立て費用を助成した後見人に対し報酬助成を行った。(4,560千円)	申立 35 報酬助成 27	申立 27 報酬助成 26	判断能力が不十分な高齢者などを保護するため、成年後見制度利用支援を行った。また、市長申立および親族申立て費用を助成した後見人に対し報酬助成を行う。(5,941千円)	判断能力が不十分な高齢者などを保護するため、成年後見制度の利用を支援する。また、成年後見人への報酬助成範囲を、一部拡充する。(13,738千円)	申立 43 報酬助成 31	判断能力が不十分な高齢者などを保護するため、成年後見制度の利用を支援する。また、成年後見人への報酬助成範囲を、一部拡充する。(13,738千円)	申立件数や報酬助成の件数は増加しており後見支援センターや家庭裁判所と連携し対応できている。今後は、さらに高齢化が進み、成年後見制度を必要とする対象者が増加していくことが予測され、事業を継続するとともに、制度の理解について広く周知に取り組んでいく。
								達成率	申立64% 報酬助成91%		達成率	申立77% 報酬助成96%					
								進捗度	△		進捗度	△					
2	成年後見支援センター	成年後見制度の普及・啓発、専門相談、申立手続き支援、市民後見人の養成などを行い、制度に対する市民の理解を深め、利用促進を図ります。	地域包括ケア推進課	4章3-(2) P71	成年後見支援センター	相談件数及び申立支援数	件	相談 754 申立支援 17	相談 736 申立支援 15	成年後見制度について全般の支援、市民後見人の養成などを行い、利用促進を行った。(30,857千円)	相談 783 申立支援 15	相談 781 申立支援 56	成年後見制度について全般の支援、市民後見人の養成などを行い、利用促進を行う。(31,586千円)	成年後見制度の普及・啓発、専門相談、申立手続き支援、市民後見人の養成などを行い、制度に対する市民の理解を深め、利用促進を図る。(35,317千円)	相談 809 申立支援 14	成年後見制度の普及・啓発、専門相談、申立手続き支援、市民後見人の養成などを行い、制度に対する市民の理解を深め、利用促進を図る。(35,317千円)	計画通り実施出来ている。成年後見支援センター相談件数や申立支援は増加しており、普及・啓発活動を継続して実施している効果が出ていると思われる。今後は、さらに高齢化が進み、成年後見制度を必要とする対象者が増加していくことが予測され、成年後見制度の理解についても継続して取り組んでいく。
								達成率	相談97% 申立支援88%		達成率	相談99% 申立支援373%					
								進捗度	○		進捗度	○					

4 介護基盤の整備

(1) 介護保険施設等の適正な整備

適正な整備に必要な情報提供に努めてまいります。

(2) 介護人材の確保・定着の促進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画(27～29年度)								27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)	
								27年度			28年度			29年度			
								数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況	取組結果	数値目標		取組状況
1	介護職員初任者研修受講者支援	介護職員初任者研修を修了し、かつ介護施設などで就業している場合、受講に要した経費のうち半額(上限50,000円)を助成します。	介護保険管理課	4章4-(2) P80	介護職員初任者研修受講者支援事業	助成人数	人	100	86	募集期間 H27.5.1～12.31 助成額計 3,415,290円	150	41	予算額 7,644千円 募集期間 H28.5.2～12.31 申請状況(28.6.15) 22人(14人交付決定済)	募集期間 H28.5.2～12.31 助成額計 1,692,370円	100	予算額 5,075千円 募集期間 H29.5.1～1.31	H29年度から3か月の就労要件を撤廃し、また、市外事業所に勤務する市内在住者も助成対象とするなど条件を緩和し利用者の拡大を図った。養成校に対する在籍者への周知依頼のほか、指定居宅サービス事業者等連絡会議での説明等による事業所への周知も引き続き実施する。また、H28年度は実績が伸び悩み、目標の達成が困難であったため、H29年度の数値目標は、従来の制度で最も良好だったH27実績を基に、端数を上方修正して設定し、目標の達成に努めていく。(200→100)
								達成率	86.0%		達成率	27.3%					
								進捗度	△		進捗度	◆					
2	介護人材の確保に向けた広報の充実	介護に関わる仕事を身近に感じ、魅力ある仕事として認められるよう、ホームページなどを活用した広報活動を行います。	介護保険管理課	4章4-(2) P80	介護人材確保対策事業(介護キャラバン隊)	小中学生向普及啓発事業	回	1	1	小中学生向け介護啓発研修	1	2	実施校1校(H28.1.12:小学生140名)	実施校2校 ①H29.1.31:小学生125名、教諭3名 ②H29.2.7:小学生17名、教諭2名	1	実施校30校	H27年度、H28年度に小学生を対象に、要介護者の疑似体験を実施した。H29年度以降も引き続き実施し、目標達成に努めていく。
								達成率	100.0%		達成率	200.0%					
								進捗度	☆		進捗度	☆					
3	福祉人材確保・定着 千葉地域推進協議会の開催	関係団体などで構成する協議会を設置し、労働環境などを含めた総合的な対策について検討を行い、各団体による取組みを支援します。	介護保険管理課	4章4-(2) P80	福祉人材確保・定着 千葉地域推進協議会	協議会開催数	回	2	2	第1回 H27.8.25 第2回 H28.3.28	2	1	設置主体は千葉県であるため、事業費(需用費として4,297円)	H28.10.11 設置主体は千葉県であるため、事業費(需用費として2,073円)	1	予算額(需用費11千円)	H27年度は2回、H28年度は1回開催し、地域における福祉人材確保・定着対策に係る情報交換と具体的な推進方策について検討・実施した。H29年度以降は開催回数を1回に変更し、目標達成に努めていく。(2→1)
								達成率	100.0%		達成率	50.0%					
								進捗度	☆		進捗度	△					

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
△ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

5 介護保険サービスの提供

(1) 介護保険サービスの提供見込み

ア 被保険者数、要介護認定者数及びサービス利用者数の見込み

イ サービス種類ごとの利用者数及びサービス量の見込み

ウ 保険給付費及び地域支援事業費の見込み

介護保険課より別途作成依頼の予定

(2) 低所得者への配慮

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位	6期計画（27～29年度）						27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)		
							27年度			28年度				29年度	
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況		取組結果	数値目標
1	低所得者に対する本市独自の保険料減免	介護保険料の新第2段階・新第3段階については、収入や資産等、一定の基準を満たす方に対し、本市独自の保険料減免を継続します。	介護保険管理課	5章-(2) P89	低所得者に対する本市独自の保険料減免	設定不可								今後も、収入や資産等、一定の基準を満たす低所得者に対し本市独自の保険料の減免を実施します。	
							達成率	#DIV/0!	減免を要する被保険者に対して、過度な負担とならないよう適切な減免を行った。 減免決定件数：195件 減免額：2,667千円		#DIV/0!	27年度と同様に本市独自の低所得者減免を実施する。	減免決定件数：199件 減免額：2,698千円		28年度と同様に本市独自の低所得者減免を実施する。
							進捗度								
2	低所得者に対する利用者負担軽減	施設などにおける居住費・食費の補足給付や社会福祉法人など利用者負担軽減対策事業、災害などの特別な事情による減免など、利用者負担軽減対策を実施します。	介護保険管理課	5章-(2) P89	①特定入所者介護サービス等費 ②社会福祉法人等利用者負担軽減対策事業費 ③利用者負担額の減額 ④東日本大震災により被災した被保険者の利用料等の免除	設定不可									今後も、施設などにおける居住費・食費の補足給付や社会福祉法人など利用者負担軽減対策事業、災害などの特別な事情による減免など、利用者負担軽減対策を実施します。
							達成率	#DIV/0!	①認定件数：4592件 ②認定件数：35件 ③認定件数：1件 ④認定件数：3件		#DIV/0!	予算額 ①1,460,140千円 ②948千円 ③0円 ④0円	決算額 ①1,452,535千円 ②231千円 ③0円 ④0円		予算額 ①1,557,293千円 ②1,005千円 ③0円 ④0円
							進捗度								

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
計画事業の取組および進捗・達成状況について
【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
△ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

(3) 介護給付適正化の推進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	所管課の事業名	数値目標・単位		6期計画(27～29年度)						27～29年度の取組に対する評価 (計画期間全体を通じた評価)		
						27年度			28年度			29年度				
						数値目標	実績	取組結果	数値目標	実績	取組状況	取組結果	数値目標		取組状況	
1	ケアマネジャーへの支援	千葉県介護支援専門員協議会と密接に連携し、ケアマネジャーへの情報提供や研修を実施するほか、あんしんケアセンターで、支援困難事例などの相談対応など、ケアマネジャーへの支援を行います。 また、介護保険事業者集団指導及び指定居宅サービス事業者など連絡会議を開催し、運営基準の解釈や制度改正点の周知を行うことにより、適正な事業運営とサービスの質の向上を図ります。	地域包括ケア推進課	5章-(3) P89	地域包括支援センター運営事業費	設定不可	達成率	#DIV/0!	あんしんケアセンターにて、支援困難事例への対応や地域の介護支援専門員の支援等、包括的・継続的ケアマネジメント業務を実施した。(地域包括支援センター運営事業費629,116千円)	達成率	#DIV/0!	あんしんケアセンターにて、支援困難事例への対応や地域の介護支援専門員の支援等、包括的・継続的ケアマネジメント業務を実施している。(727,543千円)	達成率	#DIV/0!	あんしんケアセンターにて、支援困難事例への対応に関する相談や、資質向上を図るため、事例検討会や研修会を実施することによって支援を行った。また、介護支援専門員同士のネットワーク構築に取り組みとともに、地域ケア会議の開催等により、関係機関との連携を図り、包括的・継続的ケアマネジメント業務を実施した。(657,503千円) ※あんしんケアセンター増設準備23,784千円を含む	あんしんケアセンターの主任介護支援専門員が中心となり、地域の介護支援専門員に対し、支援困難ケースへの対応に関する相談や支援を実施するほか、資質向上を図るため、事例検討会や研修会を開催するなどの支援を行った。 また、介護支援専門員同士のネットワーク構築とともに、「地域ケア会議」「多職種連携会議」の開催等によって、多職種協働による連携体制を整備し、引き続き包括的・継続的ケアマネジメントの推進に取り組んだ。
							進捗度	☆		進捗度	☆		進捗度	☆		
							達成率	110.3%		達成率	103.1%		達成率	103.1%		
1	介護保険事業課	介護保険事業者集団指導指定居宅サービス事業者等連絡会議	介護保険事業課	5章-(3) P89	介護保険事業者集団指導指定居宅サービス事業者等連絡会議	参加事業所数(全サービス合計)	事業所	1,400	1,544	集団指導及び事業者連絡会議を開催し、運営基準の解釈や制度改正点等の周知を図った。 開催日：H28.3.15～3.16 決算額：951千円(全サービス合計)	1,440	1,484	引き続き集団指導及び事業者連絡会議を開催し、運営基準の解釈や制度改正点等の周知に努める。 開催予定：H29.3 予算額：945千円(全サービス合計)	1,485	引き続き集団指導及び事業者連絡会議を開催し、サービス事業者への情報提供を行った。 開催日：H29.3.16～17 決算額：1,018千円(全サービス合計)	数値目標を上回る参加があった。引き続き事業者の参加促進に努め、必要な情報を提供していく。
								達成率	110.3%	達成率	103.1%	達成率	103.1%			
								進捗度	☆	進捗度	☆	進捗度	☆			
3	介護相談員派遣事業の実施	市が委嘱した介護相談員が、サービス事業所を訪問して利用者などの相談に応じることにより、その疑問・不安・不満の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所におけるサービスの質の向上を図ります。	介護保険事業課	5章-(3) P90	介護相談員派遣事業	介護相談員数	人	20	20	介護相談員が施設訪問して利用者等の相談に応じ、その疑問・不安・不満の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所におけるサービスの質の向上を図った。 対象施設：57施設 訪問回数：述べ1,344回 決算額：7,567千円	20	20	引き続き特養、老健、GHに介護相談員を派遣し、利用者の疑問等の解消に努めるとともに、当該施設のサービスの質の向上を図る。 対象施設：57施設 延べ訪問回数：1,360回 予算額：8,550千円	20	引き続き特養、老健、GHに介護相談員を派遣し、利用者の疑問等の解消に努めるとともに、当該施設のサービスの質の向上を図る。 対象施設：57施設 延べ訪問回数：1368回 予算額：8,404千円	今後も利用者の疑問等の解消を図るとともに、事業所のサービスの質の向上を図る必要があるため、引き続き計画に即して事業を実施していく。
								達成率	100.0%	達成率	100.0%	達成率	100.0%			
								進捗度	☆	進捗度	☆	進捗度	☆			
5	制度や事業者情報に関する広報の推進	年度ごとにパンフレットを更新し、各関係機関に必要な数を配布することにより、介護保険制度に関する普及・啓発を行います。	介護保険管理課	5章-(3) P90	①介護保険パンフレット作成 ②介護保険料しおり作成 ③ホームページ(事業所ガイド)発行	発行回数	回	1	1	発行部数 ①51,000冊(1,706,918円) ②258,000冊(1,351,404円) ③10,000冊	1	1	発行部数 ①46,000冊(1,819千円) ②284,000冊(1,911千円) ③10,000冊(経費なし)	1	発行部数 ①47,000冊(1,500千円) ②287,000冊(2,356千円) ③10,000冊(1,637,496円)	今後もパンフレット・リーフレットをとおして、介護保険制度に関する普及・啓発を行う。
								達成率	100.0%	達成率	100.0%	達成率	100.0%			
								進捗度	☆	進捗度	☆	進捗度	☆			
6	介護保険給付の適正化	給付の適正化を図るため、引き続き事業者実地指導、介護保険事業者集団指導、住宅改修にかかる施工前後の現地確認、介護給付費通知などを実施します。 また、居宅介護支援事業所に対しては、実地指導の際に、ケアプラン点検を実施します。	介護保険管理課	5章-(3) P90	①ケアプラン等点検等事業(事業者実地指導を含む) ②介護保険事業者集団指導 ③住宅改修にかかる施工前後の現地確認 ④介護給付費通知	実地指導数	事業所	160	168	①実施期間：H27.4～H28.3 決算額：7,156千円 ②開催日：H28.3.15～3.16 決算額：476千円	163	141	①実施期間：H28.4～H29.3 予算額：7,150千円 ②開催予定：H29.3 予算額：945千円(全サービス合計)	165	①実施期間：H29.4～H30.3 予算額：7,198千円 ②開催予定：H30.3 予算額：779千円(全サービス合計)	①事業所数の増加に対応するため、実地指導の人員体制を強化するとともに実施件数を増やしていく。 ②引き続き事業者の参加促進に努め、必要な情報を提供していく。
								達成率	105.0%	達成率	86.5%	達成率	105.0%			
								進捗度	☆	進捗度	△	進捗度	☆			
8	公平な要介護認定の実施	認定調査が正確に行われるよう引き続き調査員の研修を実施するとともに、審査会委員の研修や「審査部会長会議」の開催により、各部会の審査判定の平準化を図ります。	介護保険管理課	5章-(3) P90	認定調査員研修(現任)	研修実施受講率(調査員)	%	100	100	認定調査を行う調査員に対して研修を行い認定調査の質の向上を図った。実施日：H27.11.16	100	100	認定調査を行う調査員に対して研修を行い認定調査の質の向上を図るとともに、介護認定審査部会長会議(8月)を開催し、審査判定の平準化を図る。 実施日H28.8.3(653千円)	100	認定調査を行う調査員に対して研修(12月)を行い認定調査の質の向上を図る。	今後も審査会委員の研修や「審査部会長会議」の開催により、各部会の審査判定の平準化を図る。 また、認定調査が正確に行われるよう引き続き調査員の研修を実施する。
								達成率	100.0%	達成率	100.0%	達成率	100.0%			
								進捗度	☆	進捗度	☆	進捗度	☆			